

あま市障がい者計画並びに
あま市障がい福祉計画及びあま市障がい児福祉計画
策定に係る実態調査 調査結果概要版

令和5年9月

あま市

目 次

I	調査の概要	1
1	調査目的	1
2	調査設計	1
3	回収結果	1
4	報告書の見方	2
II	調査結果	3
1	障害者手帳所持者アンケート調査	3
(1)	調査対象者の属性	3
(2)	障がいの状況について	10
(3)	住まいや暮らしについて	13
(4)	日中活動や就労について	17
(5)	相談相手・情報収集について	20
(7)	権利擁護・障がい者差別解消について	25
(8)	災害時の避難等について	30
(9)	暮らしやすさや将来の生活について	31
(10)	教育について	34
(11)	現在の物価高騰について	35
2	サービス事業者調査	37

I 調査の概要

1 調査目的

本調査は、あま市障がい福祉計画・障がい児福祉計画を策定するため、本市に居住する障がいのある方（身体・知的・精神）の日常生活などの現状や福祉サービスに対するニーズなどを把握することを目的に実施しました。

2 調査設計

	障がいのある人への調査	サービス事業者への調査
(1) 調査地域	あま市全域	あま市内及び近隣市町
(2) 調査対象	市内に居住する身体障害者手帳、療育手帳、精神保健福祉手帳所持者並びに障害福祉サービス及び地域生活支援事業受給者証所持者（抽出）	市内及び近隣市町に所在する障害福祉サービス等事業所
(3) 対象者数	2,000人	109か所
(4) 抽出方法	無作為抽出調査	全数調査
(5) 調査方法	郵送配布・回収	郵送配布・回収
(6) 調査時期	令和5年7月	令和5年7月

3 回収結果

	配布数 A	回収数 B	有効回収数 C	有効回収率 C/A
障がいのある人への調査	2,000	830	830	42%
サービス事業者への調査	109	63	63	58%

有効回収数は、回収されたが記入のない調査票を除いて集計した数。

4 報告書の見方

- (1) 比率はすべてパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しました。そのためパーセントの合計が100%にならないこともあります。
- (2) 回答率(%)は、その質問の回答者数を母数として算出しました。
- (3) 基数となるべき実数は、件数または調査数として掲載しました。比率は、この件数を100%として算出しています。
- (4) 複数回答が可能な質問では、比率算出の基数は回答者数(票数)とし、その項目を選び○印をつけた人が全体からみて何%なのかという見方をしました。そのため、各項目の比率の合計は100%を超える場合もあります。
- (5) 本報告書の表の見出し及び文章中での回答選択肢の表現は、趣旨が変わらない程度に簡略化して掲載している場合があります。

II 調査結果

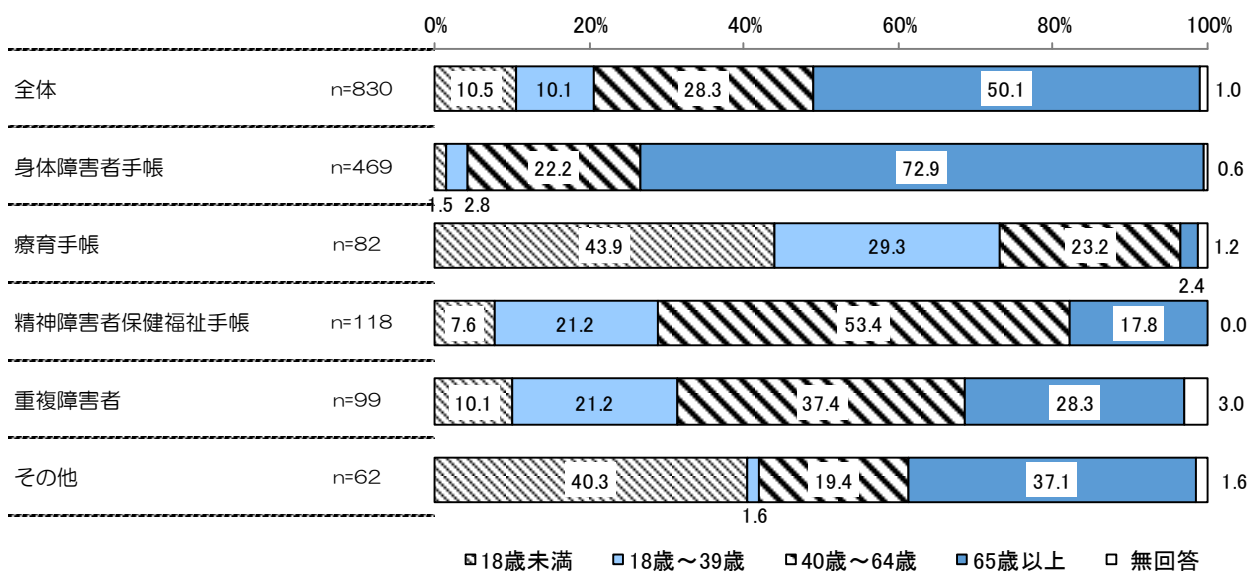
1 障害者手帳所持者アンケート調査

(1) 調査対象者の属性

問2 あなたの年齢をお答えください。(令和5年4月1日現在)

回答者の年齢の内訳は、「65歳以上」が50.1%と最も多く、次いで、「40歳～64歳」が28.3%、「18歳未満」が10.5%、「18歳～39歳」が10.1%となっています。

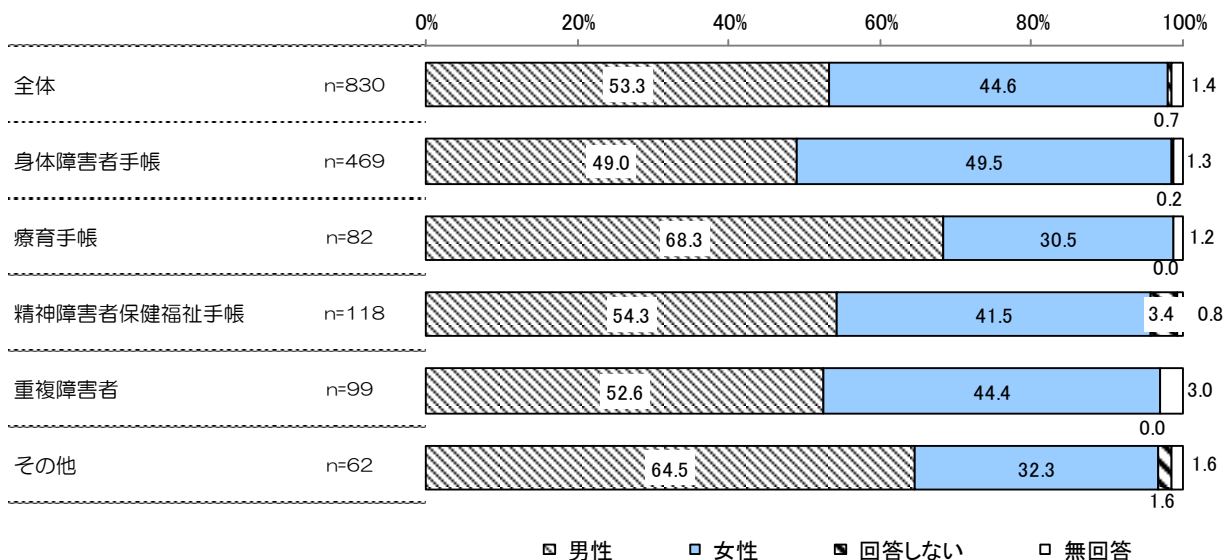
障がい別で見ると、身体障害者手帳では「65歳以上」が約7割(72.9%)を占めています。療育手帳では「18歳未満」が約4割(43.9%)を占めています。精神障害者保健福祉手帳では



問3 あなたの性別をお答えください。(〇は1つだけ)

回答者の性別は、「男性」が53.3%、「女性」が44.6%となっています。

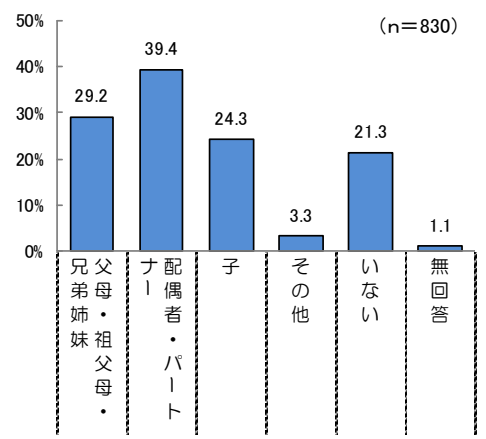
障がい別で見ると、「療育手帳」では男性の占める割合が68.3%と他の障がいに比べて高くなっています。



問5 現在、あなたが一緒に暮らしている人は、どなたですか。
(あてはまるものすべてに○)

一緒に暮らしている人については、「配偶者・パートナー」が39.4%と最も多く、次いで「父母・祖父母・兄弟姉妹」が29.2%、「子」が24.3%となっています。

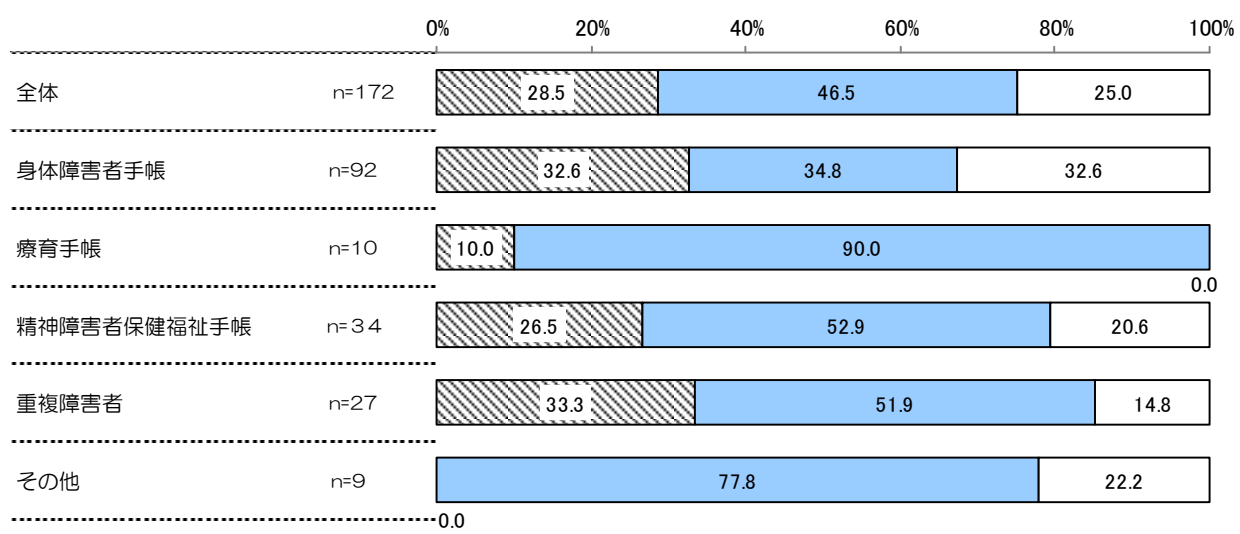
障がい別でみると、身体障害者手帳では「配偶者・パートナー」、「子」が多く、その他の障がいでは、「父母・祖父母・兄弟姉妹」が多くなっています。



		調査数	問5 一緒に暮らしている人					
			父母・祖父母・兄弟姉妹	配偶者・パートナー	子	その他	いない	無回答
全体		830	29.2	39.4	24.3	3.3	21.3	1.1
障害別	身体障害者手帳	469	11.7	54.6	34.1	4.1	20.0	0.9
	療育手帳	82	82.9	2.4	0.0	1.2	12.2	1.2
	精神障害者保健福祉手帳	118	43.2	22.0	13.6	0.8	29.7	0.8
	重複障害者	99	40.4	24.2	13.1	3.0	29.3	2.0
	その他	62	45.2	30.6	21.0	4.8	14.5	1.6

一緒に暮らしている人がいない人については、「グループホーム、福祉施設等を利用しているため」が46.5%「一人暮らしのため」が28.5%となっています。

障がい別でみると、全ての障がいで「グループホーム、福祉施設等を利用しているため」が多くなっています。

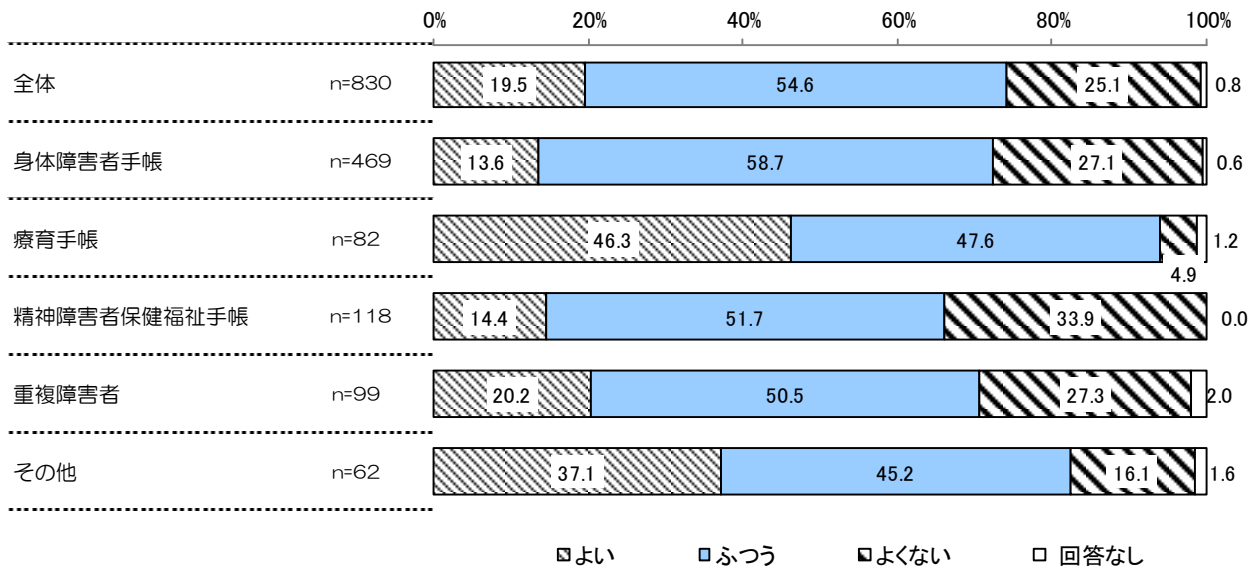


- 一人暮らしのため
- グループホーム、福祉施設等を利用しているため
- 無回答

問6 あなたの現在の健康状態はいかがですか。(〇は1つだけ)

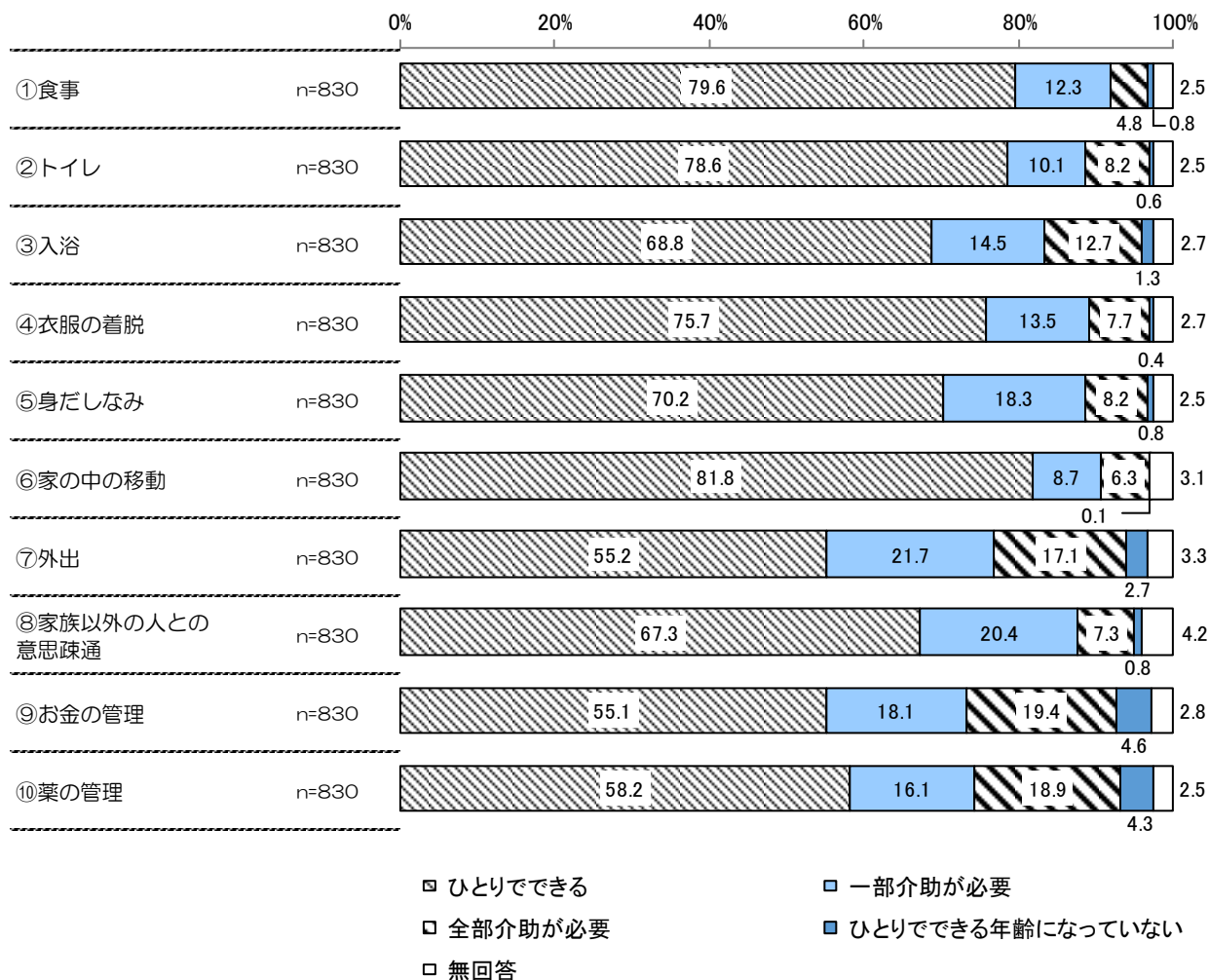
現在の健康状態については、「ふつう」が54.6%と最も多くなっています。また、「よい」と回答した人は19.5%となっているのに対し、「よくない」と回答した人は25.1%となっています。

障がい別で見ると、療育手帳では「よい」が46.3%と、「よくない」(4.9%)を大きく上回っています。その他の障がいでは「ふつう」と回答した人が多くなっています。



問7 日常生活で、次のことをどのようにしていますか。①から⑩のそれぞれにお答えください。(①から⑩それぞれに○を1つ)乳幼児の場合は[4]を選択してください。

障がい者の日常生活動作の介助の必要性については、「⑦外出」「⑨お金の管理」「⑩薬の管理」などで、介助を必要とする人が多くなっています。

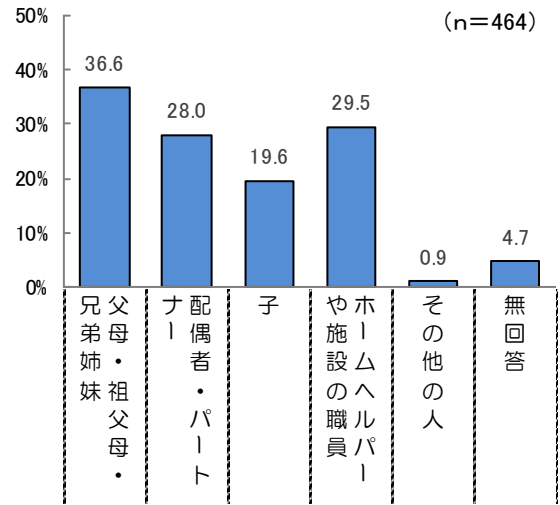


<問7で「2 一部介助が必要」、「3 全部介助が必要」又は「4 ひとりのできる年齢になっていない」と答えた方>

問8 あなたを介助してくれる方は主に誰ですか。(あてはまるものすべてに○)

家族のなかで主に介助している方については、「父母・祖父母・兄弟姉妹」が 36.6%と最も多く、次いで「ホームヘルパーや施設の職員」が 29.5%となっています。

障がい別でみると、身体障害者手帳では「配偶者・パートナー」が最も多くなっています。その他の障がいでは「父母・祖父母・兄弟姉妹」が最も多くなっています。



		調査数	問8 介助者					無回答
			父母・祖父母・兄弟姉妹	配偶者・パートナー	子(子の配偶者を含む)	ホームヘルパーや施設の職員	その他の人(ボランティア等)	
全体		464	36.6	28.0	19.6	29.5	0.9	4.7
障害別	身体障害者手帳	203	10.8	45.3	34.5	33.0	2.0	2.0
	療育手帳	73	86.3	1.4	0.0	26.0	0.0	5.5
	精神障害者保健福祉手帳	73	35.6	24.7	16.4	27.4	0.0	5.5
	重複障害者	71	47.9	18.3	5.6	31.0	0.0	9.9
	その他	44	56.8	13.6	11.4	20.5	0.0	6.8

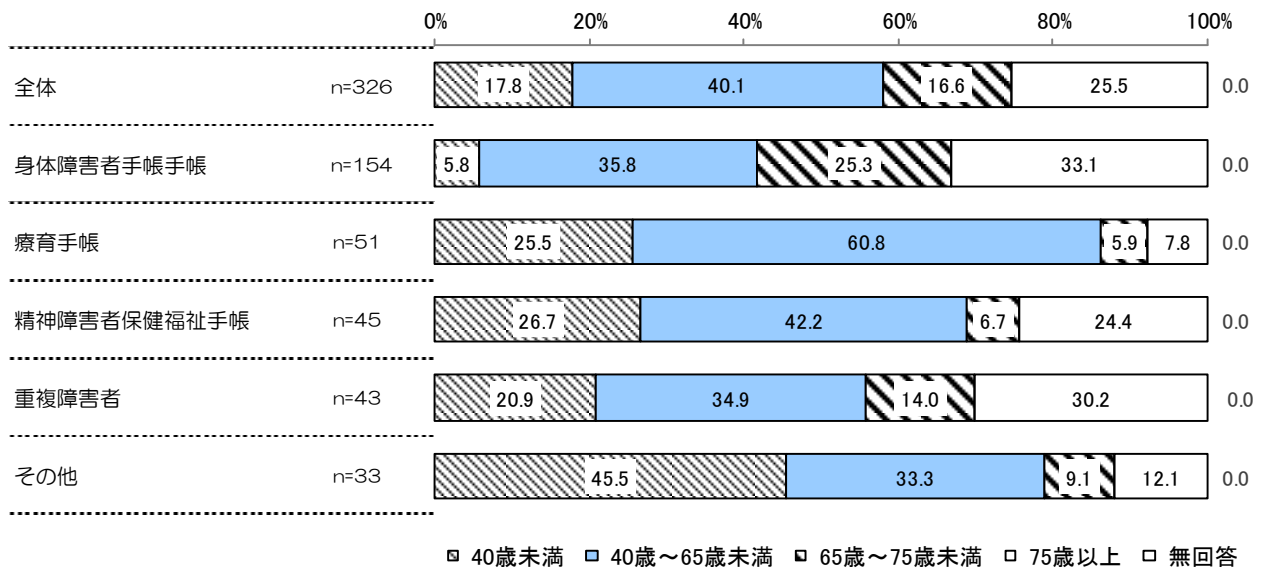
<問8で「1 父母・祖父母・兄弟姉妹」～「3 子（子どもの配偶者を含む）」と答えた方>

問9 あなたを介助してくれる家族で、介助者の方の年齢、性別、健康状態、悩み等をお答えください。

① 年齢（令和5年4月1日現在）

主に介助している方の年齢については、「40歳～64歳」が40.1%と最も多く、次いで「75歳以上」が25.5%となっています。

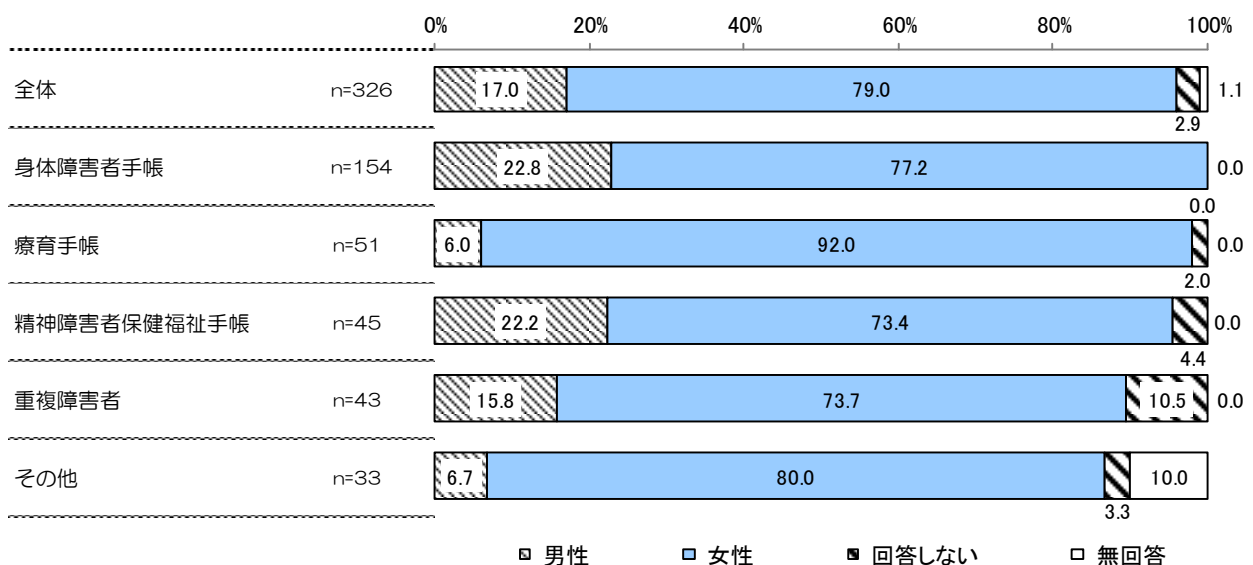
障がい別でみると、いずれの障がいにおいても「40歳～64歳」が最も多くなっています。



② 性別（〇は1つだけ）

主に介助している方の性別については、「男性」が17.0%、「女性」が79.0%となっており、女性の介助者が多くなっています。

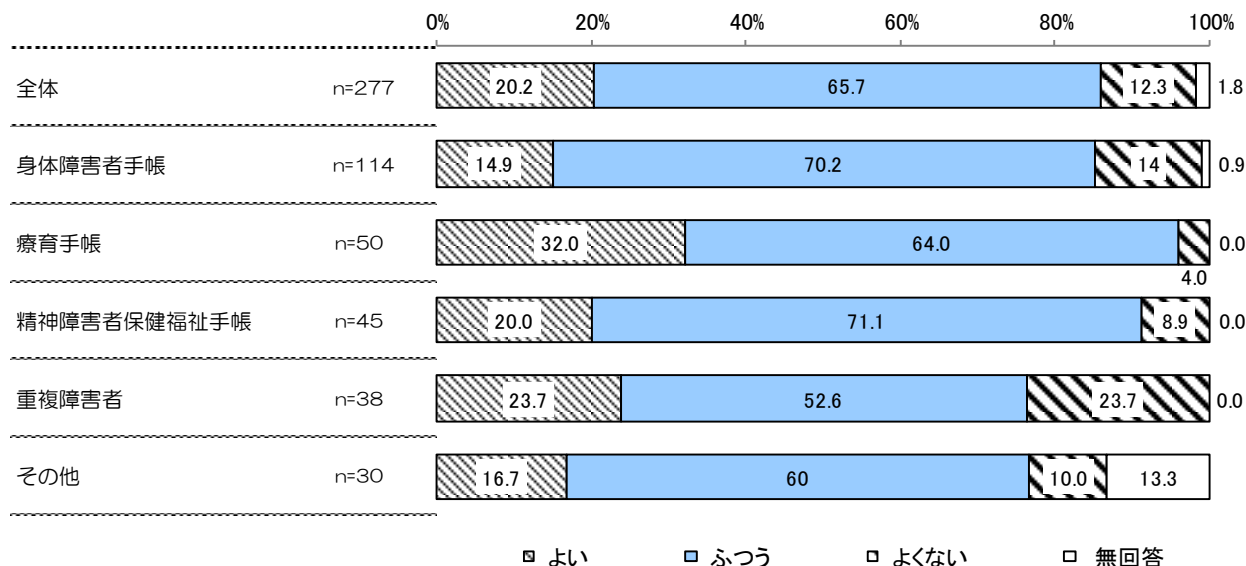
障がい別でみると、療育手帳では「女性」が92.0%と多くなっています。



③ 介助者の健康状態（〇は1つだけ）

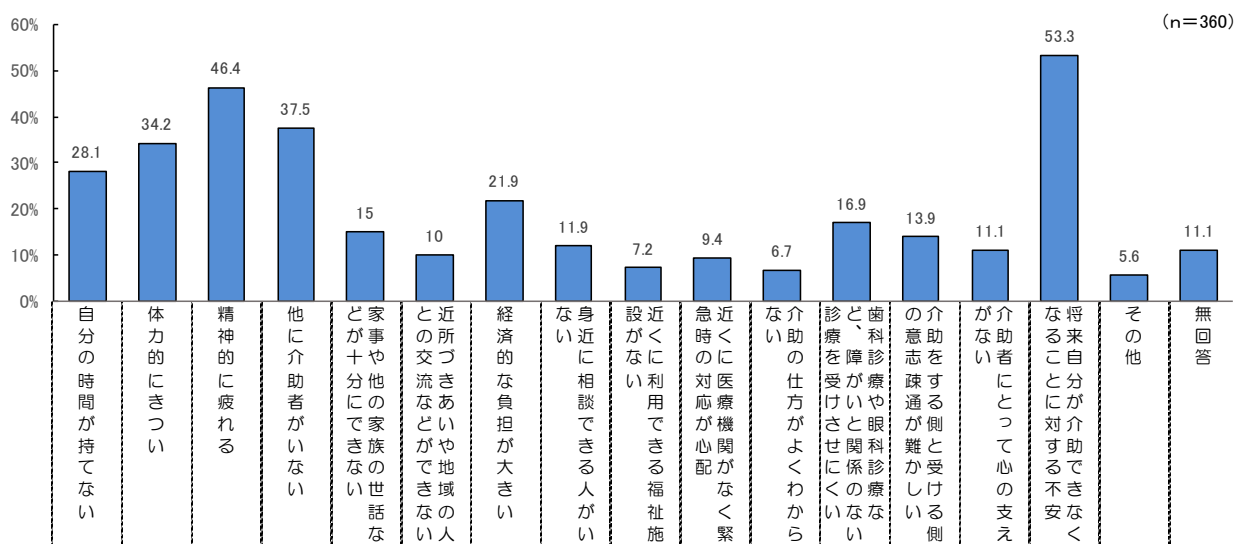
主に介助している方の健康状態については、「ふつう」が65.7%と最も多くなっています。また、「よい」が20.2%となっているのに対し、「よくない」は12.3%となっています。

障がい別でみると、「よい」と回答した人は、身体障害者手帳では約1割（14.9%）、療育手帳では約3割（32.0%）、精神障害者保健福祉手帳、重複障害者では約2割となっています。



④ 主な介助者の方が介助する上での悩みや問題は何ですか。（あてはまるものすべてに〇）

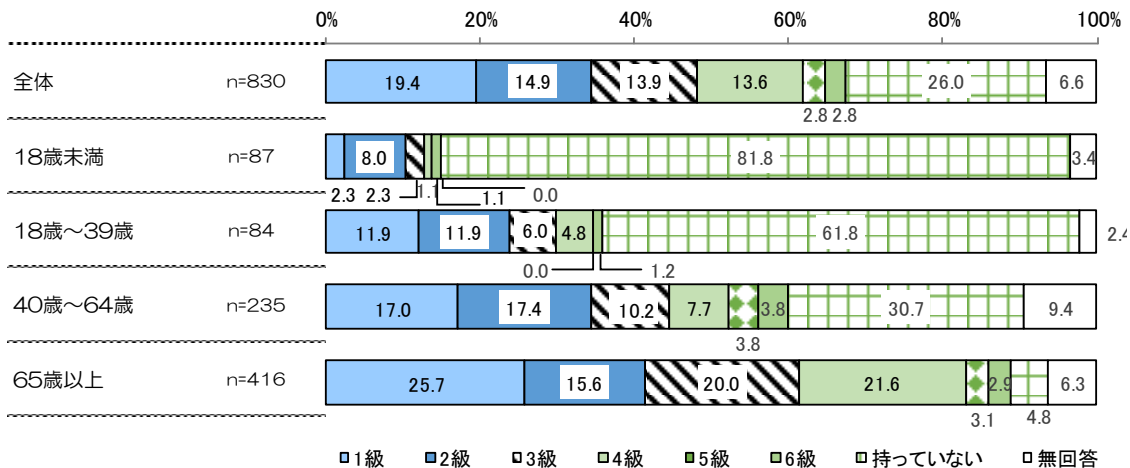
主な介助者の方が介助する上での悩みや問題については、「将来自分が介助できなくなることに對する不安」が53.3%と最も多く、次いで「精神的に疲れる」が46.4%、「他に介助者がいない」が37.5%、「体力的にきつい」が34.2%となっています。



(2) 障がいの状況について

問10 あなたは身体障害者手帳をお持ちですか。(〇は1つだけ)

身体障害者手帳の所持については、「持っている」が67.4%、「持っていない」が26.0%となっています。持っている人の等級については「1級」が19.4%と最も多く、次いで「2級」が14.9%、「3級」が13.9%、「4級」が13.6%となっています。

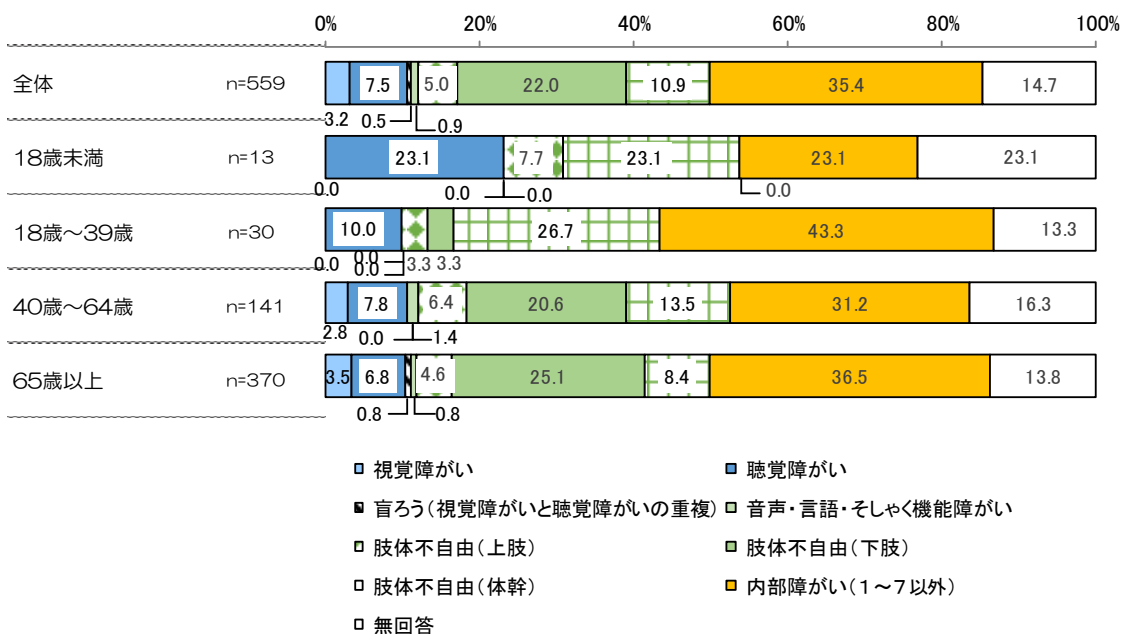


※「持っている」: 全体から「持っていない」と「無回答」を除いた割合

問11 身体障害者手帳をお持ちの場合、主たる障がいの種類をお答えください。(〇は1つだけ)

障がいの種類については、「内部障害(1～7以外)」が35.4%と最も多く、次いで「肢体不自由(下肢)」が22.0%、「肢体不自由(体幹)」が10.9%、「聴覚障がい」が7.5%となっています。

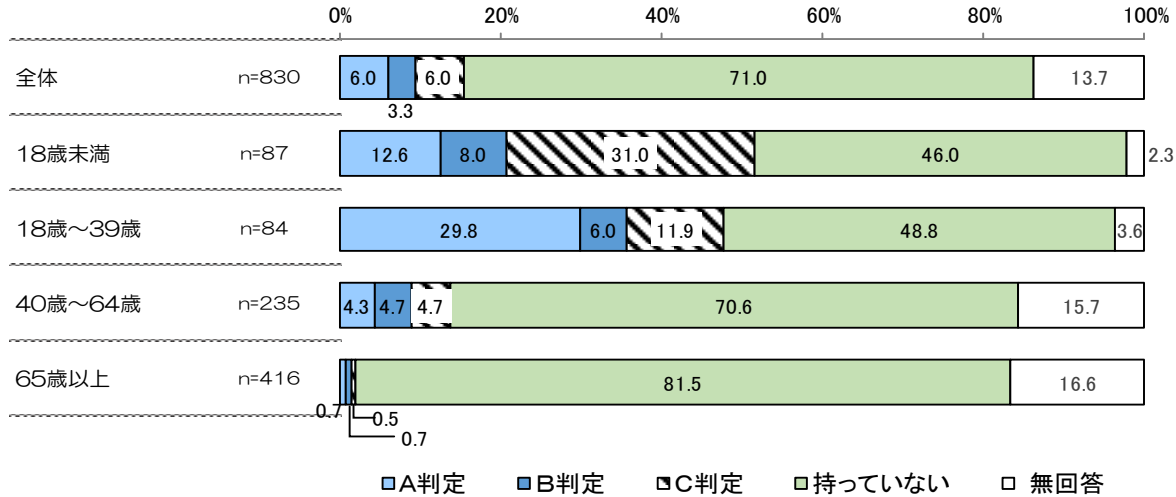
年齢別にみると、18歳～39歳では「内部障がい(1～7以外)」が最も多く約4割を占めています。また、18歳未満では「肢体不自由(体幹)」、「内部障がい(1～7以外)」がともに23.1%と最も多くなっています。



問12 あなたは療育手帳をお持ちですか。（〇は1つだけ）

療育手帳については、「持っている」が15.3%、「持っていない」が71.0%となっています。持っている人の等級については「A判定」が6.0%、「B判定」3.3%「C判定」が6.0%となっています。

年齢別にみると、18歳未満で「C判定」が31.0%、18歳～39歳で「A判定」が29.8%と多くなっています。

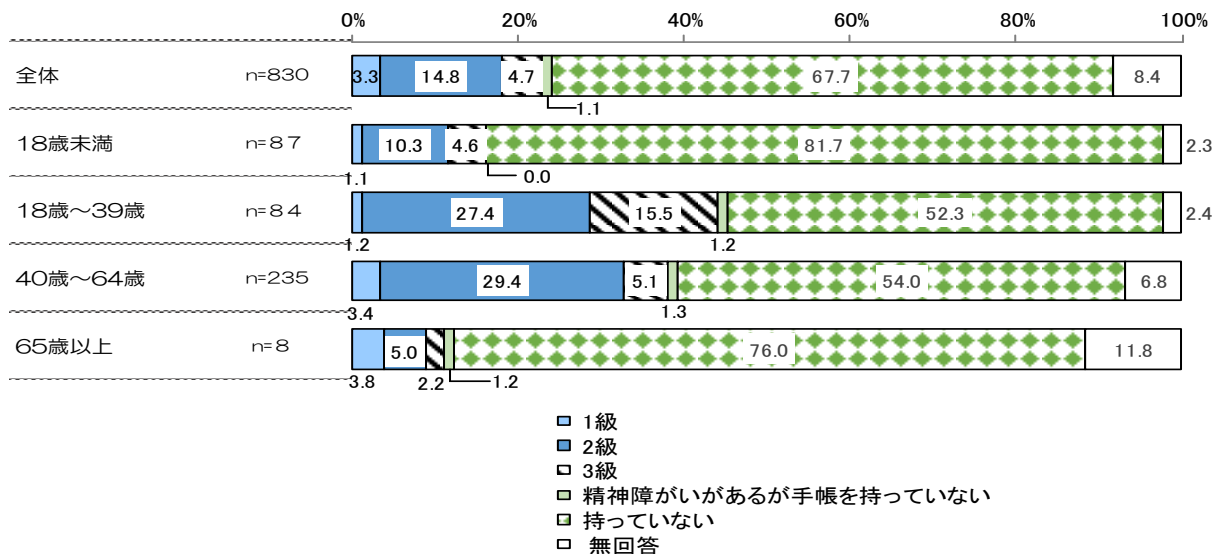


※「持っている」：全体から「持っていない」と「無回答」を除いた割合

問13 あなたは精神障害者保健福祉手帳をお持ちですか。（〇は1つだけ）

精神障害者保健福祉手帳については、「持っている」が22.8%、「持っていない」が67.7%、「精神障がいがあるが手帳を持っていない」が1.1%となっています。持っている人の等級については「1級」が3.3%、「2級」が14.8%、「3級」が4.7%となっています。

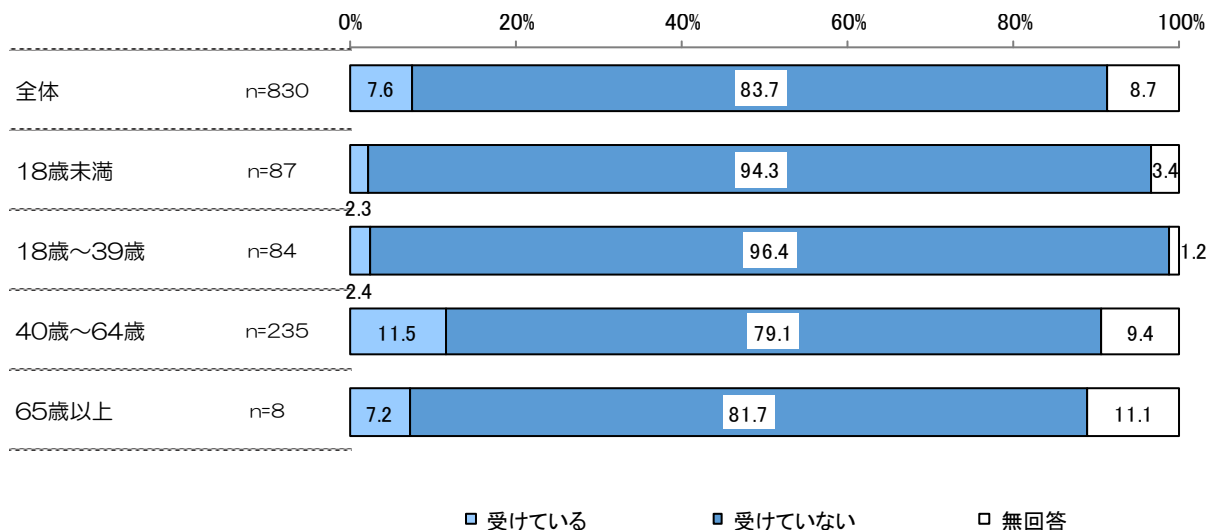
年齢別にみると、18歳～39歳や40歳～64歳で「2級」が多くなっています。



※「持っている」：全体から「精神障がいがあるが手帳を持っていない」「持っていない」と「無回答」を除いた割合

問15 あなたは指定難病の認定を受けていますか。（〇は1つだけ）

難病の認定については、「受けている」が7.6%、「受けていない」が83.7%となっています。
年齢別でみると、40歳～64歳で「受けている」が全体平均を超えています。

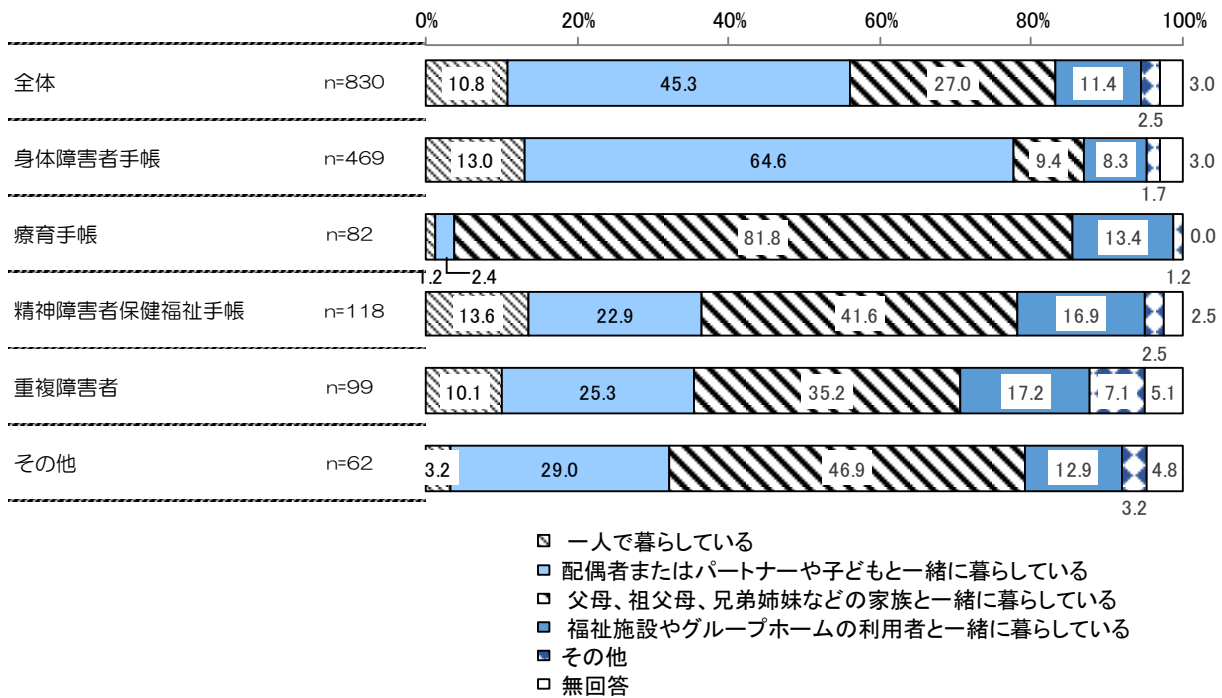


(3) 住まいや暮らしについて

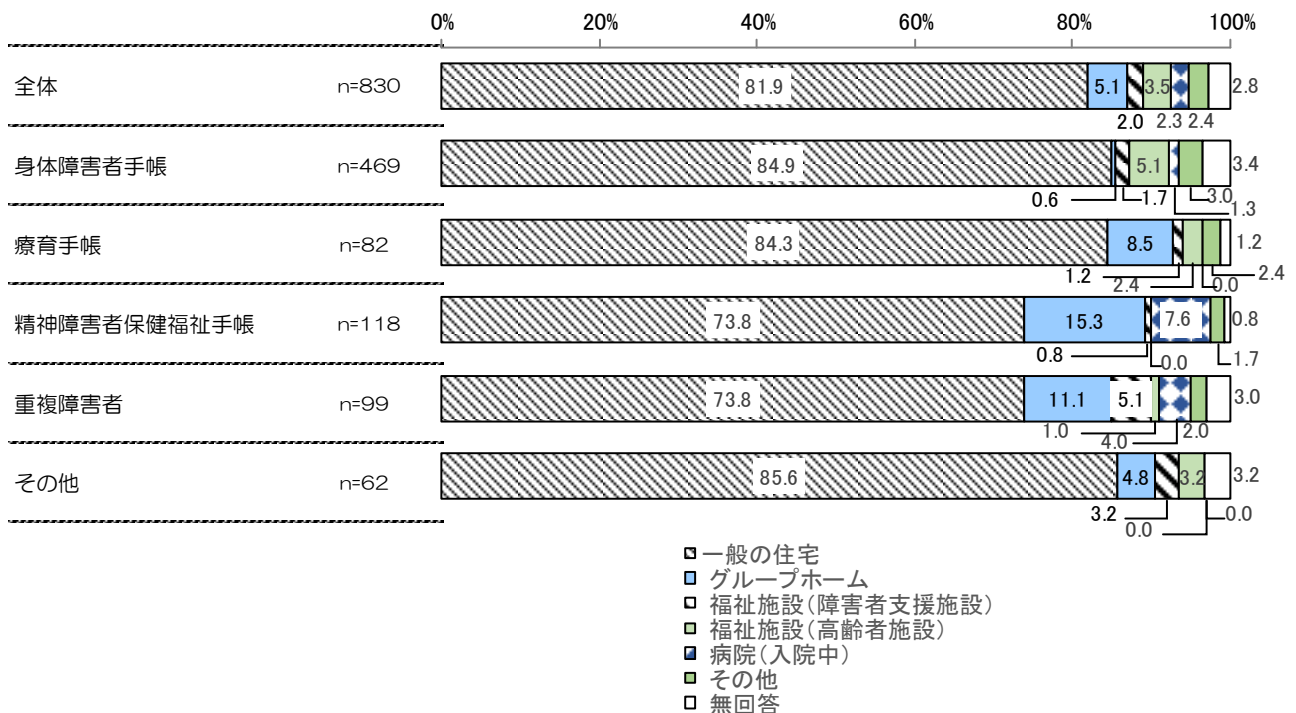
問 22 あなたは現在どのように暮らしていますか。(〇は1つだけ)

① 一緒に暮らしている人の有無

現在の暮らしについては、「配偶者またはパートナーや子どもと一緒に暮らしている」が45.3%と最も多くなっています。障がい別で見ると、療育手帳では「父母、祖父母、兄弟姉妹などの家族と一緒に暮らしている」が約8割となっています。



② 暮らしている場所

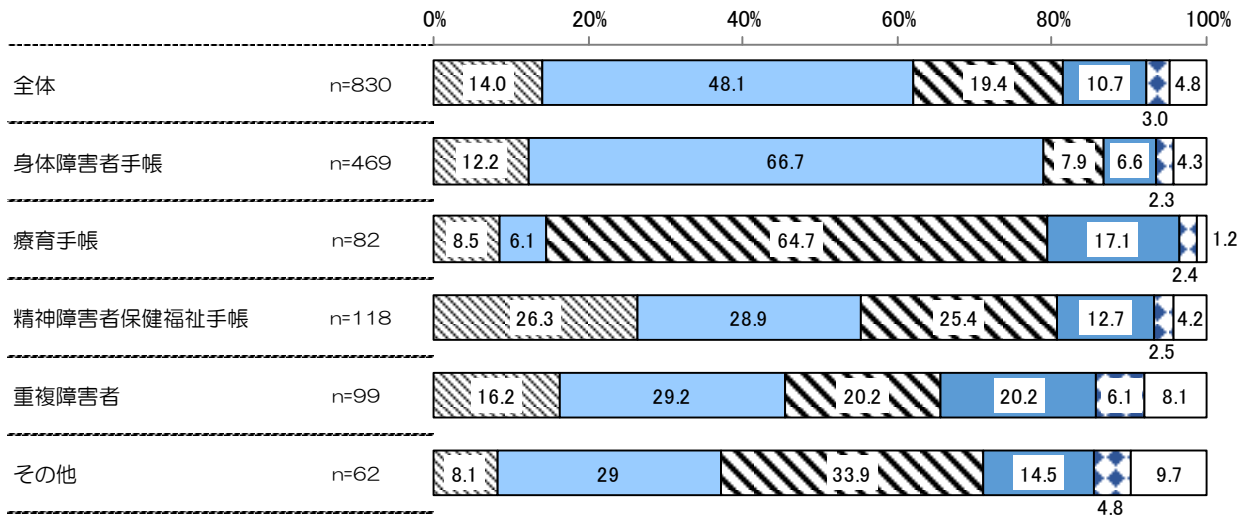


問 23 あなたは将来（概ね 6 年以内）にどのような暮らしをしたいと思いますか。
（○は1つだけ）

① 一緒に暮らしたい人の有無

今後概ね6年以内に一緒に暮らしたい人の有無については、「配偶者またはパートナーや子どもと一緒に暮らしたい」が48.1%となっています。

障がい別でみると、療育手帳では「父母、祖父母、兄弟姉妹などの家族と一緒に暮らしたい」が6割を超えています。

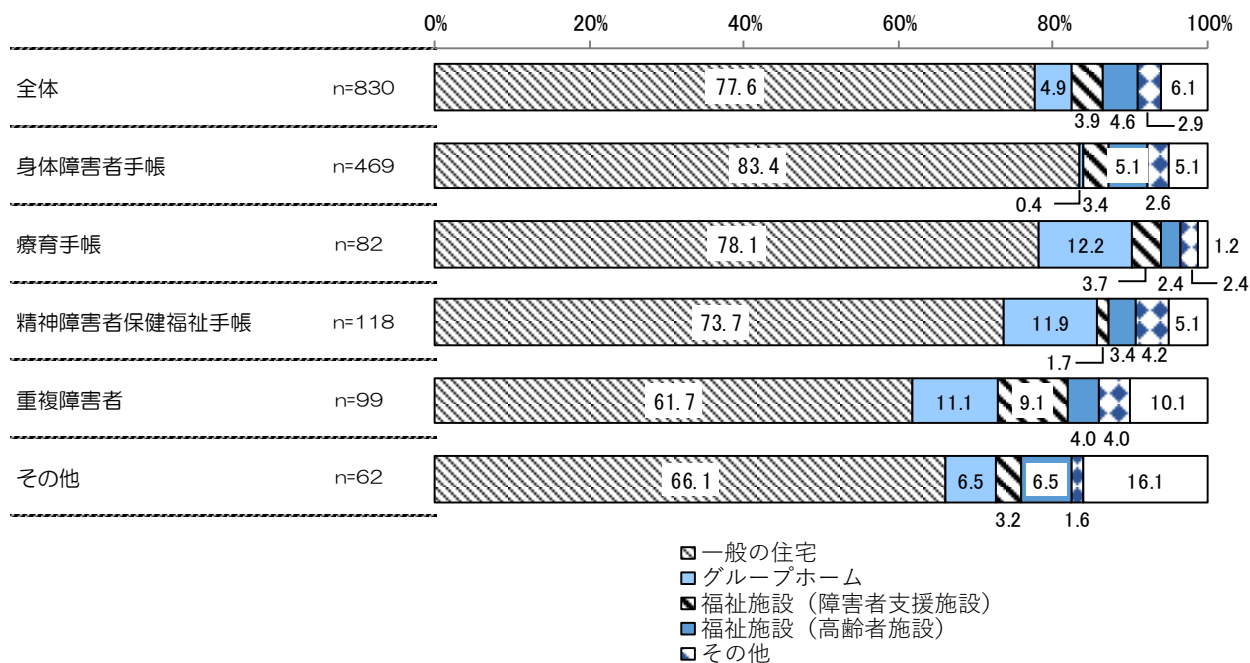


- 一人で暮らしたい
- 配偶者またはパートナーや子どもと一緒に暮らしたい
- 父母、祖父母、兄弟姉妹などの家族と一緒に暮らしたい
- 福祉施設やグループホームの利用者と一緒に暮らしたい
- その他
- 無回答

② 暮らしたい場所

今後概ね6年以内に暮らしたい場所については、「一般の住宅」が77.6%と最も多く、次いで「グループホーム」が4.9%となっています。

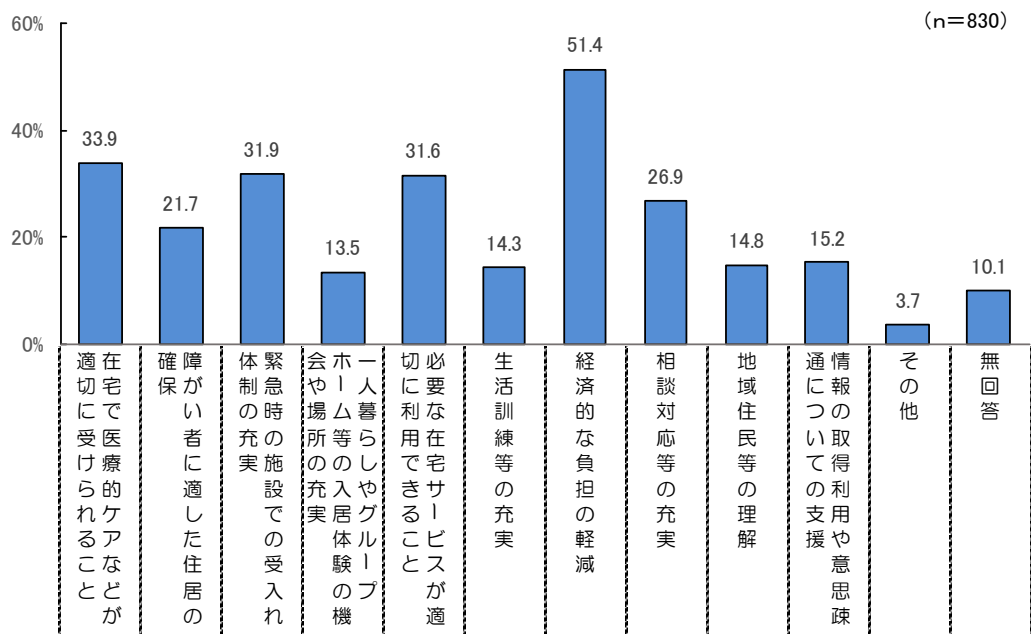
障がい別でみると、いずれの障がいにおいても「一般の住宅」が最も多くなっており、特に身体障害者手帳では83.4%となっています。



問24 希望する暮らしを送るためには、どのような支援があればよいと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

希望する暮らしを送るための必要な支援については、「経済的な負担の軽減」が51.4%（前回40.5%）と最も多く、次いで、「在宅で医療的ケアなどが適切に受けられること」が33.9%、「緊急時の施設での受入れ体制の充実」が31.9%、「必要な在宅サービスが適切に利用できること」が31.6%、「生活訓練等の充実」が14.3%、「経済的な負担の軽減」が最も多くなっています。次いで多い回答は、障がい別でそれぞれ異なった回答となっています。

障がい別でみると、いずれの障がいにおいても「経済的な負担の軽減」が最も多くなっています。次いで多い回答は、障がい別でそれぞれ異なった回答となっています。



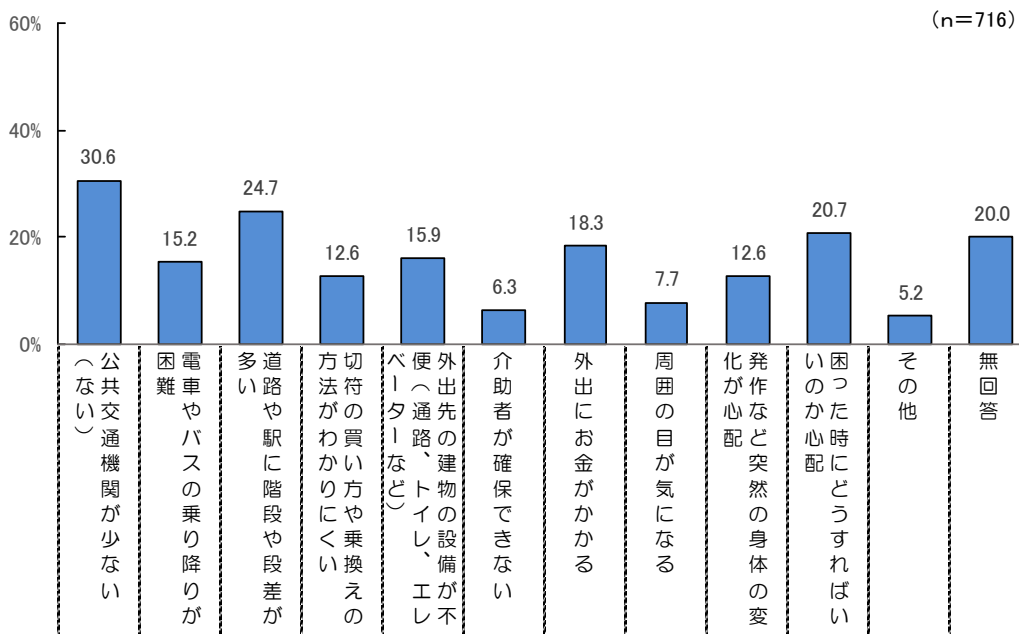
		問24 希望する暮らしを送るために必要な支援												
		調査数	在宅で医療的ケアなどが適切に受けられること	障がい者に適した住居の確保	緊急時の施設での受入れ体制の充実	一人暮らしやグループホーム等の入居体験の機会や場所の充実	必要な在宅サービスが適切に利用できること	生活訓練等の充実	経済的な負担の軽減	相談対応等の充実	地域住民等の理解	情報の取得利用や意思疎通についての支援	その他	無回答
全体		830	33.9	21.7	31.9	13.5	31.6	14.3	51.4	26.9	14.8	15.2	3.7	10.1
障 害 別	身体障害者手帳	469	44.8	21.3	35.6	8.1	36.5	9.8	48.8	19.0	9.8	11.5	3.2	9.6
	療育手帳	82	12.2	25.6	31.7	37.8	28.0	37.8	51.2	43.9	34.1	32.9	1.2	12.2
	精神障害者保健福祉手帳	118	22.0	17.8	22.0	15.3	28.0	11.0	62.7	40.7	21.2	14.4	5.9	6.8
	重複障害者	99	24.2	32.3	35.4	15.2	22.2	15.2	56.6	25.3	14.1	18.2	4.0	11.1
	その他	62	17.7	9.7	17.7	16.1	21.0	22.6	41.9	40.3	16.1	16.1	6.5	16.1

(4) 日中活動や就労について

問29 外出する時に困ることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

外出時に困ることについては、「公共交通機関が少ない」が30.6%（前回18.5%）と最も多く、次いで「道路や駅に階段や段差が多い」が24.7%、「困った時にどうすればいいのか心配」が20.7%となっています。

障がい別でみると、身体障害者手帳では「道路や駅に階段や段差が多い」が33.7%と最も多く、次いで「公共交通機関が少ない（ない）」が31.0%となっています。その他の障がいでは、重複障害者以外は、「困った時にどうすればいいのか心配」が最も多くなっています。また、いずれの障がいにおいても「公共交通機関が少ない（ない）」と回答した人が約3割みられます。

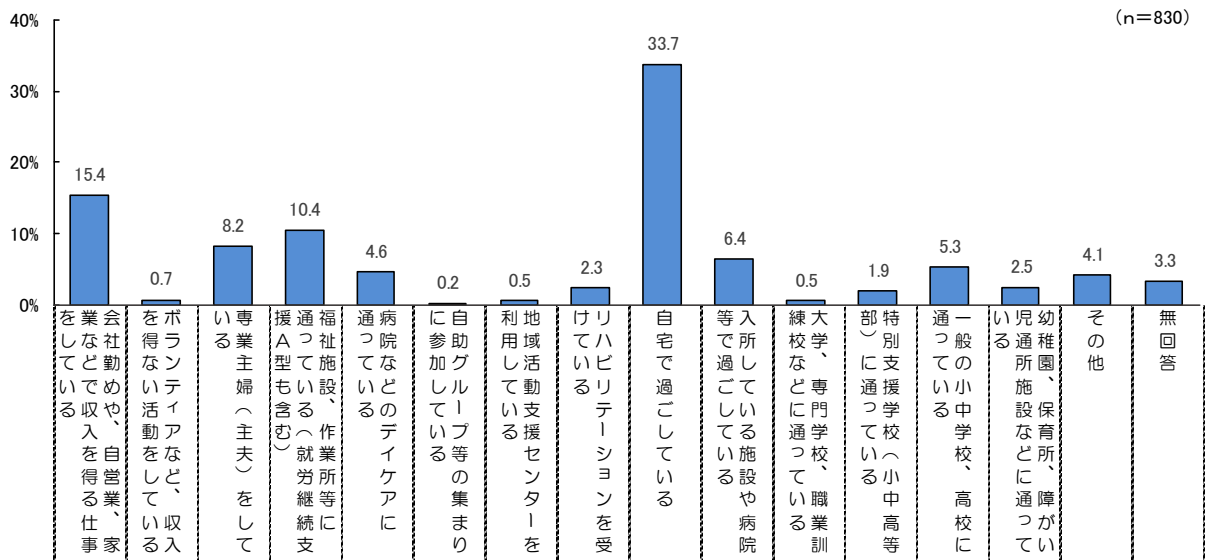


		問28 外出する際に困ること												
		調査数	公共交通機関が少ない（ない）	電車やバスの乗り降りが困難	道路や駅に階段や段差が多い	切符の買い方や乗換えの方法がわかりにくい	外出先の建物の設備が不便	介助者が確保できない	外出にお金がかかる	周囲の目が気になる	発作など突然の身体の変化が心配	困った時にどうすればいいのか心配	その他	無回答
全体		716	30.6	15.2	24.7	12.6	15.9	6.3	18.3	7.7	12.6	20.7	5.2	20.0
障 害 別	身体障害者手帳	406	31	17.5	33.7	7.9	19.2	5.4	12.8	3.9	10.8	14.5	5.9	20.4
	療育手帳	78	28.2	10.3	9.0	30.8	10.3	9.0	16.7	10.3	10.3	37.2	5.1	23.1
	精神障害者保健福祉手帳	99	36.4	8.1	9.1	12.1	10.1	4.0	38.4	21.2	13.1	30.3	6.1	13.1
	重複障害者	79	30.4	20.3	22.8	19.0	17.7	10.1	26.6	10.1	26.6	25.3	1.3	16.5
	その他	54	20.4	11.1	11.1	13.0	7.4	7.4	13.0	3.7	7.4	18.5	3.7	29.6

問30 あなたは、平日の日中を主にどのように過ごしていますか。（〇は1つだけ）

平日の主な過ごし方については、「自宅で過ごしている」が33.7%と最も多く、次いで「会社勤めや、自営業、家業などで収入を得て仕事をしている」が15.4%、「福祉施設、作業所等に通っている（就労継続支援A型も含む）」が10.4%（前回7.8%）となっています。

障がい別でみると、全体との差が大きいものは、療育手帳で「福祉施設、作業所等に通っている（就労継続支援A型も含む）」が34.2%となっています。

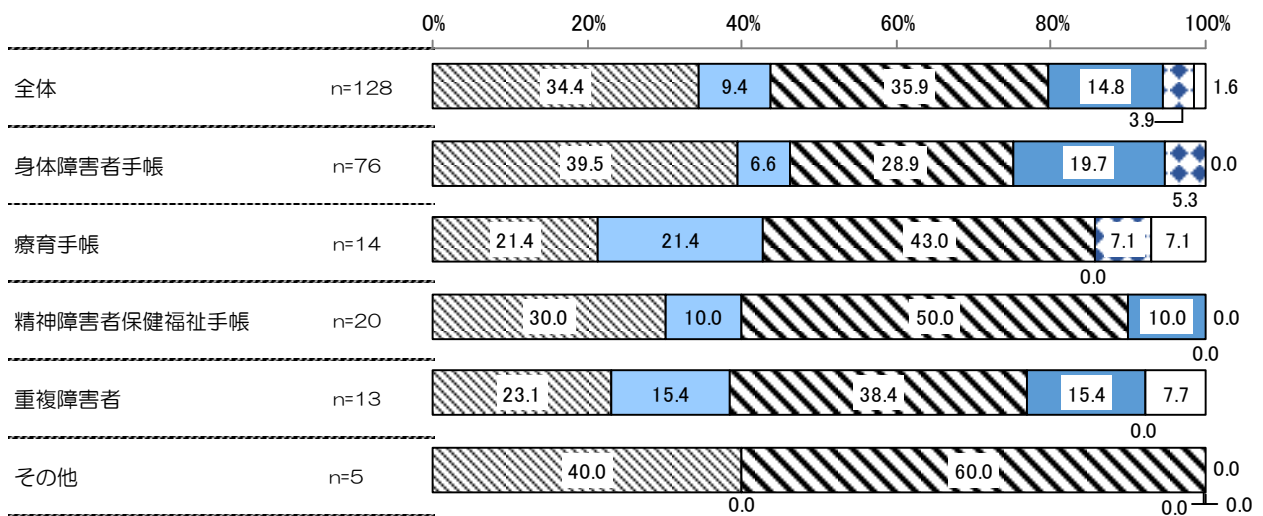


		問30 平日の日中の主な過ごし方																
		調査数	会社勤めや、自営業、家業などで収入を得る仕事をしている	ボランティアなど、収入を得ない仕事をしている	専業主婦（主夫）をしている	福祉施設、作業所等に通っている	病院などのデイケアに通っている	自助グループ等に参加している	地域活動支援センターを利用している	リハビリテーションを受けている	自宅で過ごしている	入所している施設や病院等で過ごしている	大学、専門学校、職業訓練校などに通っている	特別支援学校に通っている	一般の小学校、高校に通っている	幼稚園、保育所、障がい児通所施設などに通っている	その他	無回答
全体		830	15.4	0.7	8.2	10.4	4.6	0.2	0.5	2.3	33.7	6.4	0.5	1.9	5.3	2.5	4.1	3.3
障 害 別	身体障害者手帳	469	16.2	1.1	12.2	1.3	5.3	0.2	0.2	3.4	43.7	6.8	0.0	0.4	1.1	0.0	4.5	3.6
	療育手帳	82	17.1	0.0	0.0	34.2	0.0	0.0	1.2	0.0	3.7	1.2	0.0	14.6	13.4	14.6	0.0	0.0
	精神障害者保健福祉手帳	118	16.9	0.8	4.2	25.4	2.5	0.8	0.8	0.0	27.4	6.8	0.8	0.0	6.8	0.0	5.1	1.7
	重複障害者	99	13.1	0.0	3.0	19.2	6.1	0.0	1.0	2.0	29.4	9.1	3.0	2.0	4.0	0.0	5.1	3.0
	その他	62	8.1	0.0	4.8	4.8	6.5	0.0	0.0	1.6	17.7	4.8	0.0	0.0	25.9	14.5	3.2	8.1

問31 どのような勤務形態で働いていますか。(〇は1つだけ)

勤務形態については、「パート・アルバイト等の非常勤職員、派遣職員」が35.9%と最も多く、次いで「正職員で他の職員と勤務条件等に違いはない」が34.4%、「自営業、農林水産業など」が14.8%となっています。

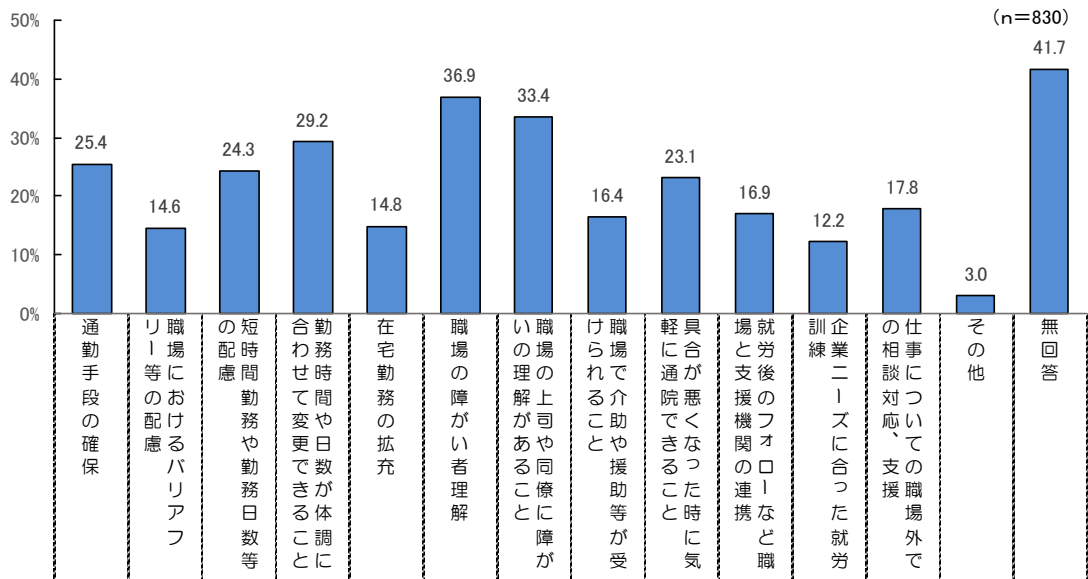
障がい別で見ると、身体障害者手帳では「正職員で他の職員と勤務条件等に違いはない」が39.5%と最も多く、次いで「パート・アルバイト等の非常勤職員、派遣職員」が28.9%となっています。身体障害者手帳以外ではいずれも「パート・アルバイト等の非常勤職員、派遣職員」が最も多くなっています。



- 正職員で他の職員と勤務条件等に違いはない
- 正職員で短時間勤務などの障がい者配慮がある
- パート・アルバイト等の非常勤職員、派遣職員
- 自営業、農林水産業など
- その他
- 無回答

問34 あなたは、障がい者の就労支援として、どのようなことが必要だと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

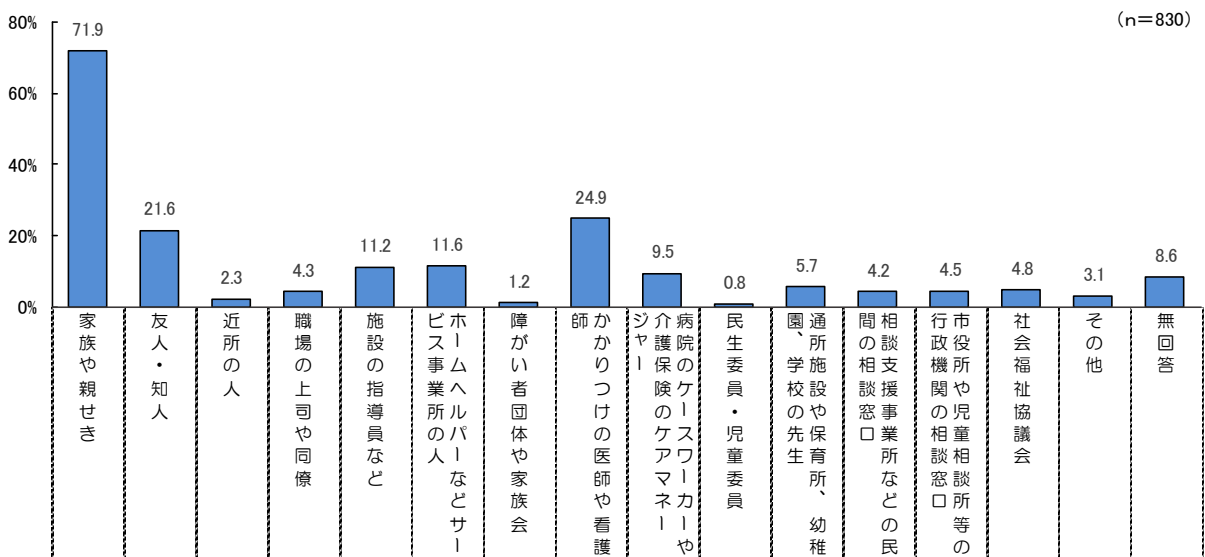
障がい者の就労支援として必要なことについては、「職場の障がい者理解」が36.9%と最も多く、次いで「職場の上司や同僚に障がいの理解があること」が33.4%、「勤務時間や日数が体調に合わせて変更できること」が29.2%、「通勤手段の確保」が25.4%、「短時間勤務や勤務日数等の配慮」が24.3%、「具合が悪くなった時に気軽に退院できること」が23.1%、となっております。障がい者の就労に対するニーズは多岐に渡っています。



(5) 相談相手・情報収集について

問35 あなたは、普段、悩みや困ったことをどなたに相談しますか。
(あてはまるものすべてに○)

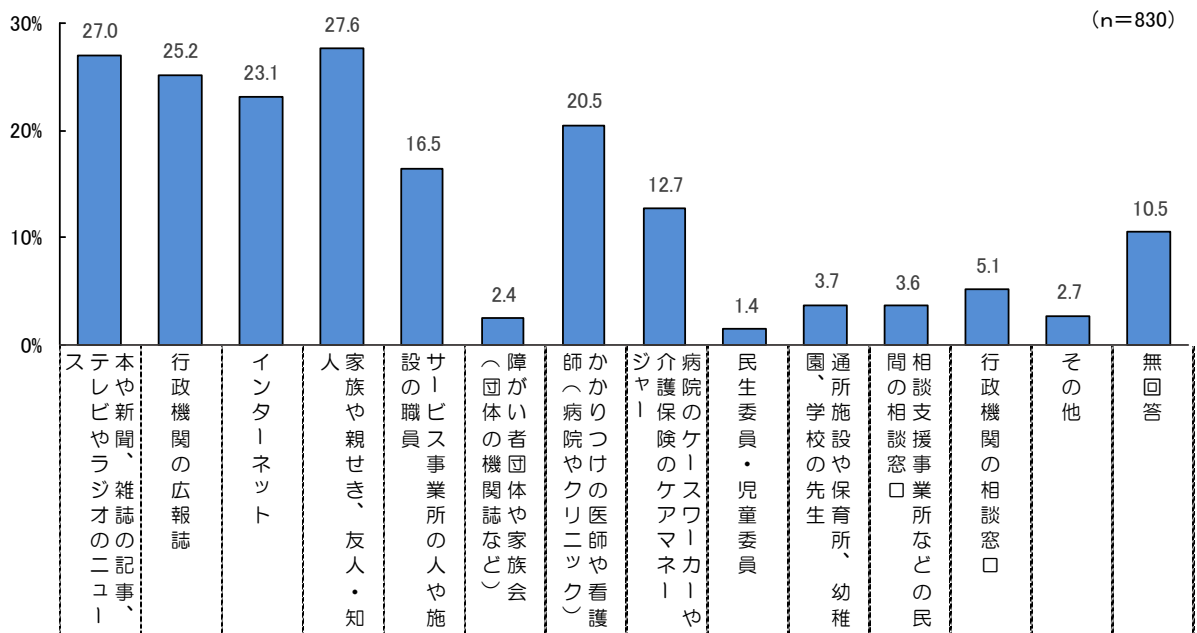
普段、悩みや困ったことの相談者については、「家族や親せき」が71.9%と最も多く、次いで「かかりつけの医師や看護師」が24.9%、「友人・知人」が21.6%となっています。



問 36 あなたは障がいのことや福祉サービスなどに関する情報を、どこから知ることが多いですか。(あてはまるものすべてに○)

障がいのことや福祉サービスなどに関する情報を知る媒体については、「家族や親せき、友人・知人」が 27.6%と最も多く、次いで「本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース」が 27.0%、「行政機関の広報誌」が 25.2%、「インターネット」が 23.1%となっています。

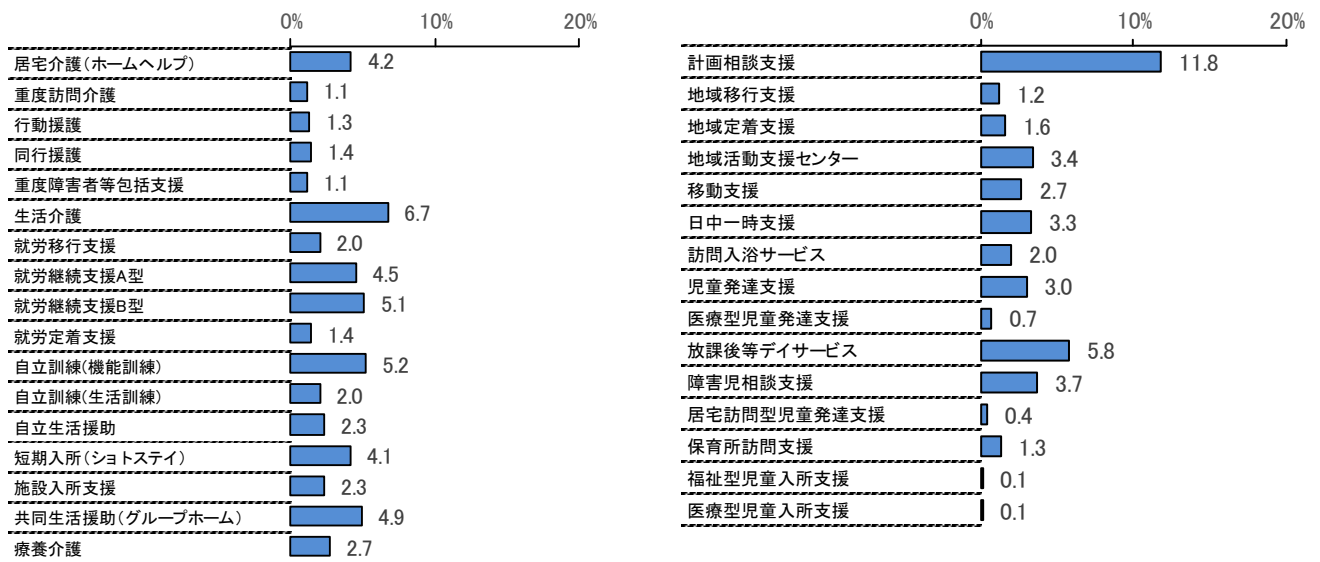
障がい別でみると、身体障害者手帳では「本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース」「行政機関の広報誌」、療育手帳では「家族や親せき、友人・知人」「サービス事業所の人や施設職員」、精神障害者保健福祉手帳では「インターネット」「かかりつけの医師や看護師」、重複障害者では「家族や親せき、友人・知人」「インターネット」「かかりつけの医師や看護師」等があげられています。



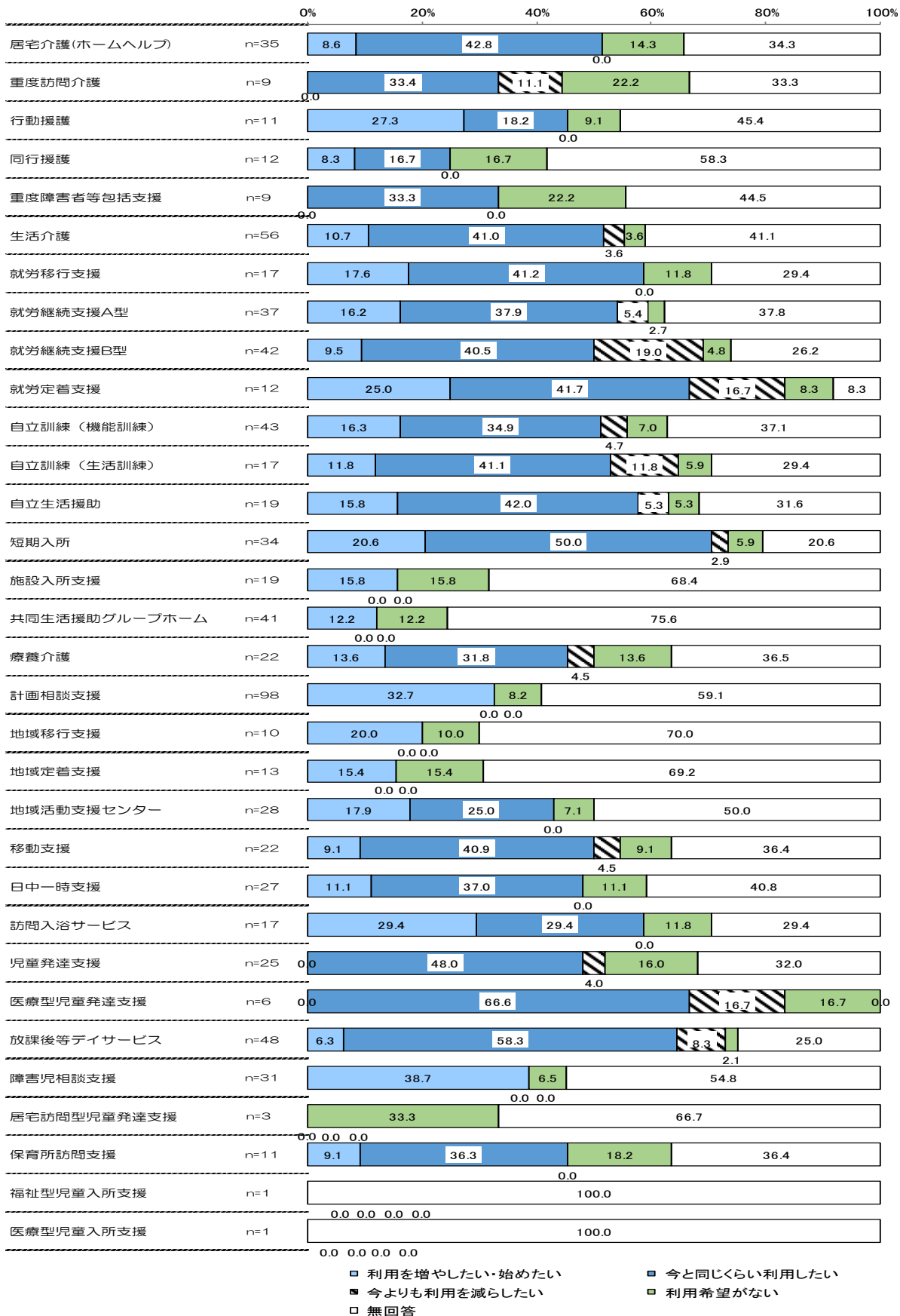
	調査数	問36 障がいのことや福祉サービスなどに関する情報の入手先														
		本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース	行政機関の広報誌	インターネット	家族や親せき、友人・知人	サービス事業所の人や施設職員	障がい者団体や家族会	かかりつけの医師や看護師	病院のケースワーカーや介護保険のケアマネジャー	民生委員・児童委員	通所施設や保育所、幼稚園、学校の先生	相談支援事業所などの民間の相談窓口	行政機関の相談窓口	その他	無回答	
全体	830	27.0	25.2	23.1	27.6	16.5	2.4	20.5	12.7	1.4	3.7	3.6	5.1	2.7	10.5	
障 害 別	身体障害者手帳	469	33.7	32.4	20.5	25.4	8.5	2.1	20.5	14.7	2.1	0.6	1.3	3.8	0.6	10.9
	療育手帳	82	22.0	15.9	28.0	39.0	37.8	3.7	13.4	0.0	0.0	17.1	7.3	7.3	4.9	9.8
	精神障害者保健福祉手帳	118	17.8	16.9	30.5	23.7	24.6	0.8	27.1	14.4	1.7	0.0	9.3	10.2	7.6	5.9
	重複障害者	99	16.2	16.2	23.2	31.3	22.2	5.1	23.2	16.2	0.0	5.1	3.0	3.0	3.0	9.1
	その他	62	17.7	12.9	22.6	30.6	24.2	1.6	12.9	4.8	0.0	14.5	6.5	4.8	4.8	19.4

問 38 あなたは次のサービスを利用していますか。また、これから利用する予定はありますか。

現在、利用している障害福祉サービスについては、「計画相談支援」が11.8%と最も多く、次いで「生活介護」が6.7%、「放課後等デイサービス」が5.8%、「自立訓練（機能訓練）」が5.2%となっています。

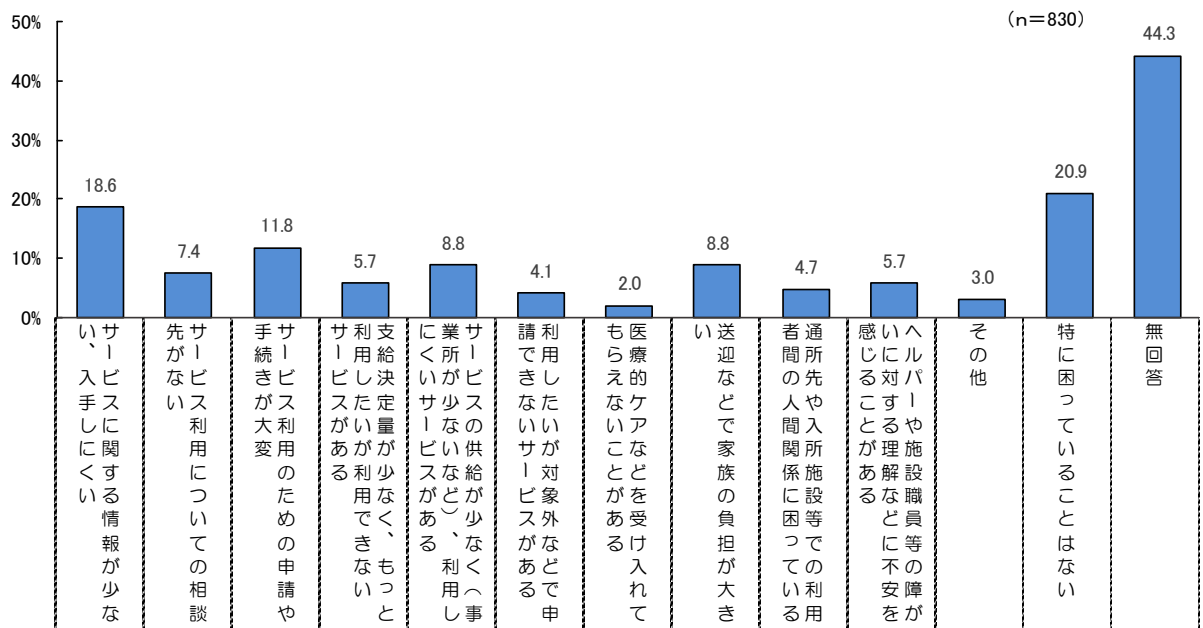


今後6年以内の利用希望については、「居宅介護（ホームヘルプ）」「生活介護」「就労移行支援」「就労継続支援B型」「就労定着支援」「計画相談支援」「地域活動支援センター」「日中一時支援」「障害児相談支援」などでは「同じくらい利用する」が4割を超えています。



問41 サービスの利用で困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

サービスの利用で困っていることについては、「特に困っていることはない」が20.9%と最も多くなっています。困っていることがある人の中では、「サービスに関する情報が少ない、入手しにくい」が18.6%と最も多く、次いで「サービス利用のための申請や手続きが大変」が11.8%となっています。障がい別でみると、困っている人は、身体障害者手帳や療育手帳、精神障害者保健福祉手帳では「サービスに関する情報が少ない、入手しにくい」、重複障害者では「サービス利用のための申請や手続きが大変」があげられています。



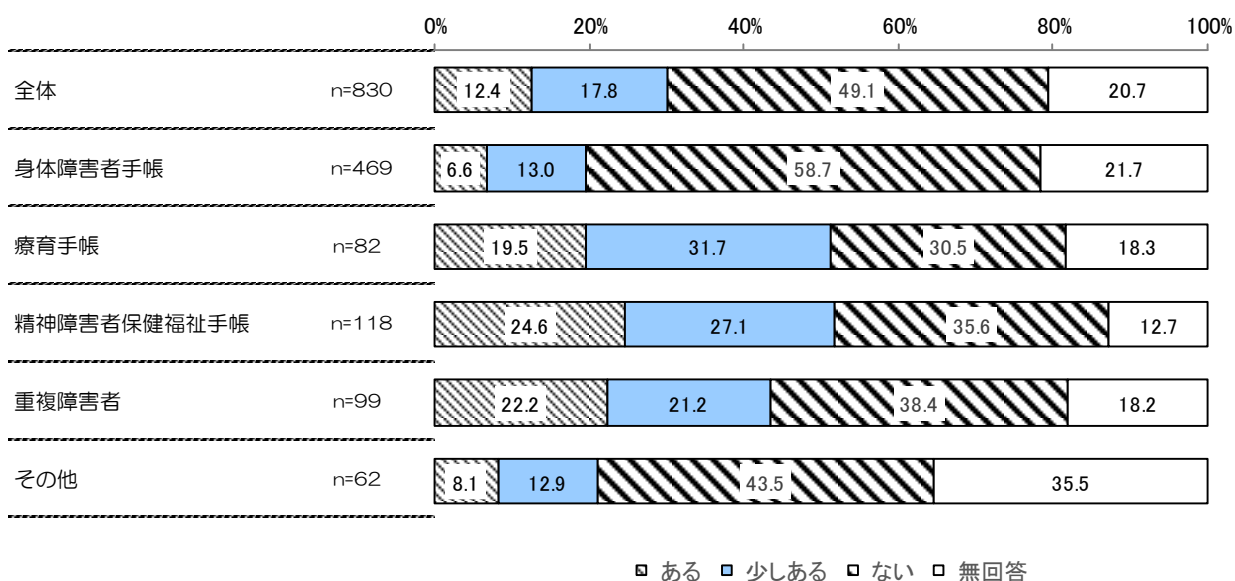
		調査数	問41 サービスの利用で困っていること												
			サービスに関する情報が少ない、入手しにくい	サービス利用についての相談先がない	サービス利用のための申請や手続きが大変	支給決定量が少なく、もったいないサービスがある	サービスの供給が少なく、利用しにくいサービスがある	利用したいが対象外など申請できないサービスがある	医療的ケアなどを受け入れてもらえないことがある	送迎などで家族の負担が大きい	通所先や入所施設等での利用者の人間関係に困っている	ヘルパーや施設職員等の障がいに対する理解などに不安を感じる	その他	特に困っていることはない	無回答
全体		296	18.6	7.4	11.8	5.7	8.8	4.1	2.0	8.8	4.7	5.7	3.0	20.9	44.3
障 害 別	身体障害者手帳	86	12.8	3.5	9.3	7.0	7.0	1.2	3.5	4.7	5.8	4.7	2.3	20.9	51.2
	療育手帳	64	28.1	10.9	9.4	7.8	6.3	1.6	0.0	12.5	3.1	9.4	3.1	21.9	35.9
	精神障害者保健福祉	62	17.7	8.1	12.9	4.8	8.1	6.5	3.2	3.2	8.1	4.8	6.5	19.4	48.4
	重複障害者	49	14.3	8.2	18.4	4.1	14.3	10.2	2.0	14.3	4.1	6.1	2.0	16.3	44.9
	その他	35	22.9	8.6	11.4	2.9	11.4	2.9	0.0	14.3	0.0	2.9	0.0	28.6	34.3

(7) 権利擁護・障がい者差別解消について

問 44 あなたは、障がいがあることで差別や嫌な思いをする（した）ことがありますか。（○は1つだけ）

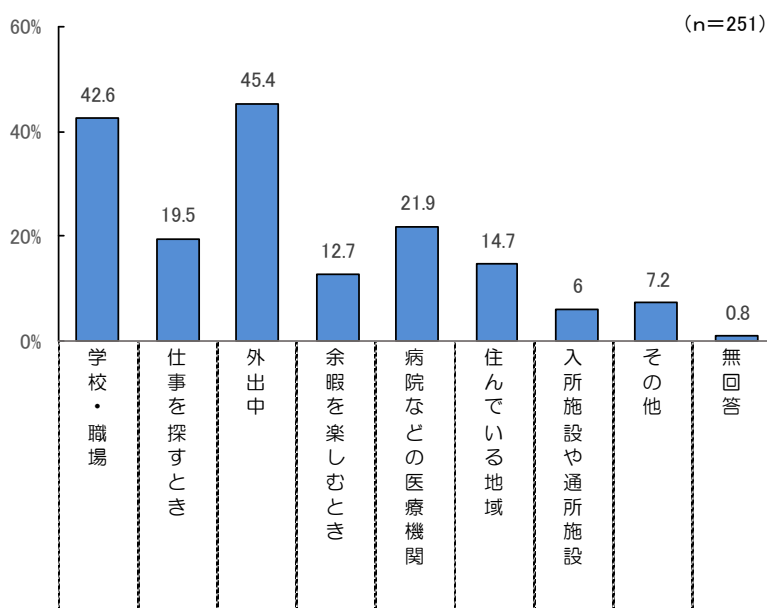
障がいがあることで差別や嫌な思いをする（した）ことがあるかについては、「ない」が49.1%（前回54.9%）と最も多くなっています。一方で、「ある」は12.4%、「少しある」は17.8%となっており、これらを合わせると約3割（30.2%（前回29.7%））を占めています。

障がい別でみると、差別や嫌な思いをしたことが「ある」人は、身体障害者手帳では6.6%にとどまっているものの、療育手帳では19.5%、精神障害者保健福祉手帳では24.6%、重複障害者では22.2%となっています。



問 45 どのような場所で差別や嫌な思いをしましたか。（あてはまるものすべてに○）

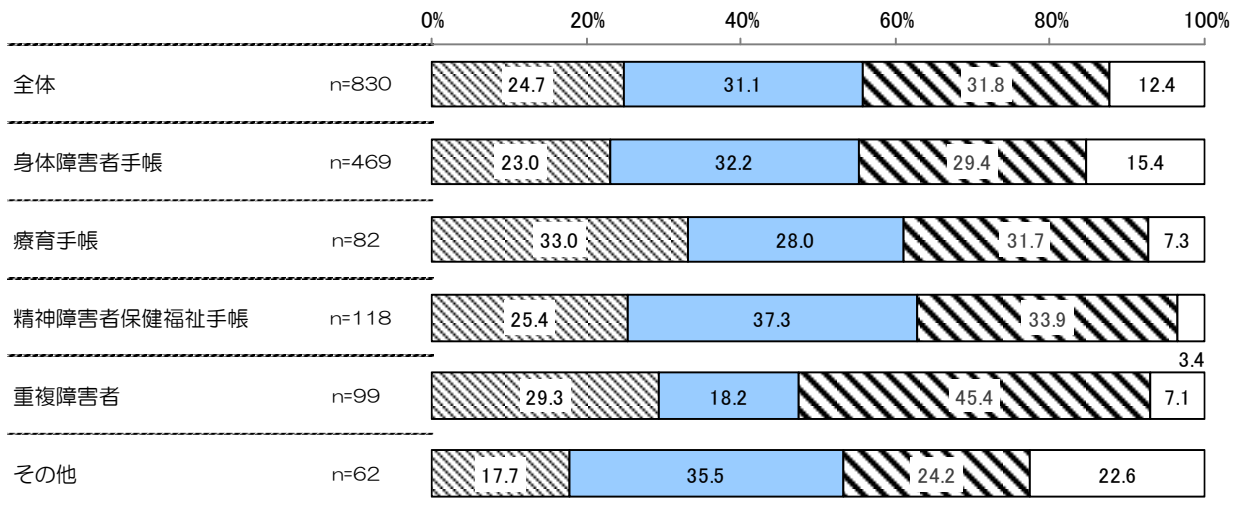
差別や嫌な思いをした場所については、「外出中」が45.4%と最も多く、次いで「学校・仕事場」が42.6%、「病院等の医療機関」が21.9%となっています。



問 46 成年後見制度についてご存じですか。(〇は1つだけ)

成年後見制度の認知度については、「名前も内容も知らない」が 31.8% (前回 38.6%) と最も多くなっています。一方で、「名前も内容も知っている」は 24.7%、「名前を聞いたことがあるが、内容は知らない」は 31.1%となっており、これらを合わせた認知度は約 5 割 (55.8% (前回 49.4%)) となっています。

障がい別でみると、成年後見制度の認知度は、身体障害者手帳では 55.2%、療育手帳では 61.0%、精神障害者保健福祉手帳では 62.7%、重複障害者では 47.5%となっています。

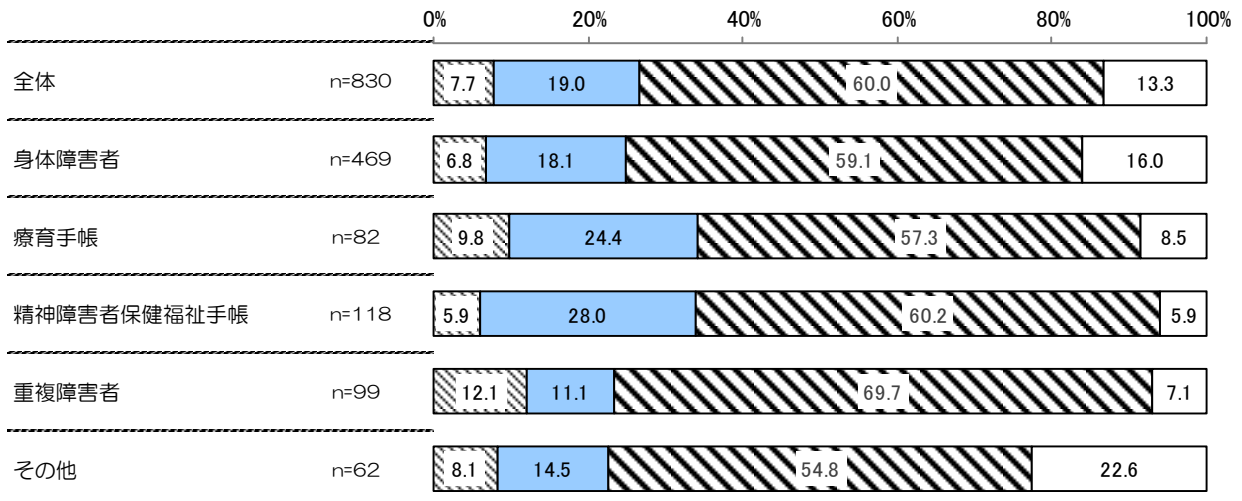


- 名前も内容も知っている
- 名前を聞いたことがあるが、内容は知らない
- 名前も内容も知らない
- 無回答

問 47 あなたは、障害者差別解消法を知っていますか。(〇は1つだけ)

障害者差別解消法の認知度については、「法の名称も名前も知らない」が60.0%(前回64.6%)と最も多くなっています。一方で、「法の名称も内容も知っている」は7.7%、「法の名称は知っているが、内容は知らない」は19.0%となっており、これらを合わせた認知度は26.7%(前回22.5%)となっています。

障がい別でみると、差別解消法の認知度は、療育手帳と精神障害者保健福祉手帳で3割を超えています。

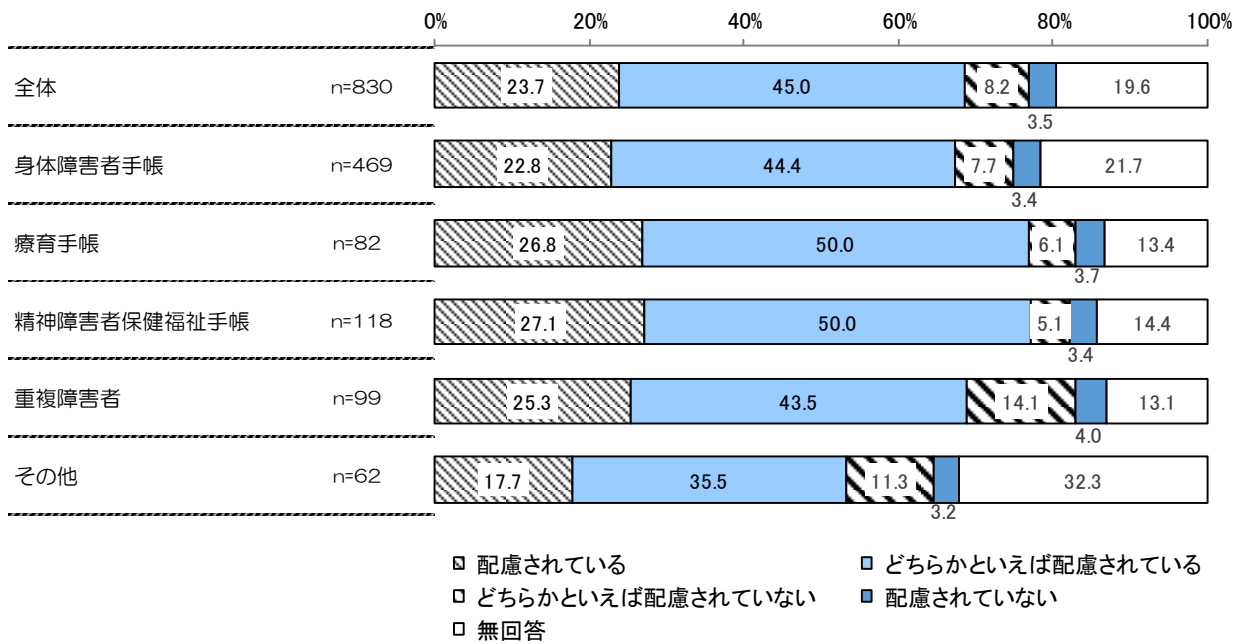


- ▣ 法の名称も内容も知っている
- ▣ 法の名称は知っているが、内容は知らない
- ▣ 法の名称も内容も知らない
- 無回答

問 48 あなたは、あま市役所（または市の公共施設等）での対応について障がい者に対する配慮がされていると思いますか。（○は1つだけ）

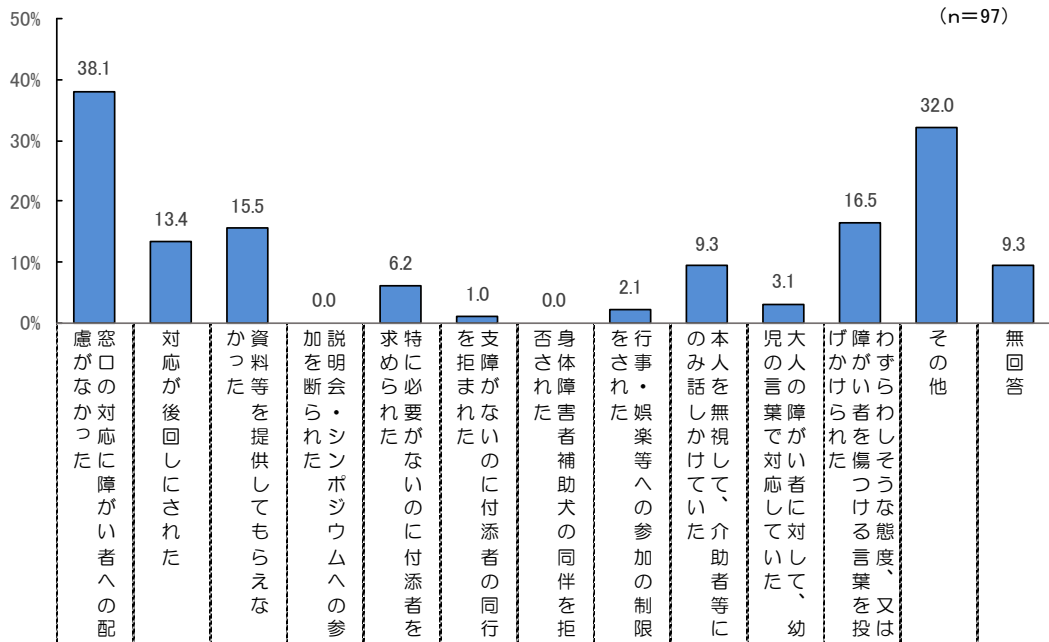
あま市役所（市の公共施設等）の窓口等での対応が障がい者に対する配慮がされているかについては、「どちらかといえば配慮されている」が45.0%と最も多く、次いで「配慮がされている」が23.7%となっており、これらを合わせた、配慮がされていると感じている人が約7割（68.7%（前回69.4%））を占めています。

障がい別でみると、配慮がされていると感じている人は、身体障害者手帳では67.2%、療育手帳では76.8%、精神障害者保健福祉手帳では77.1%、重複障害者では68.8%となっています。



問 49 どのような場面で感じましたか。(あてはまるものすべてに○)

配慮されていないと感じた場面については、「窓口の対応に障がい者への配慮がなかった」が38.1%と最も多く、次いで「その他」が32.0%となっています。

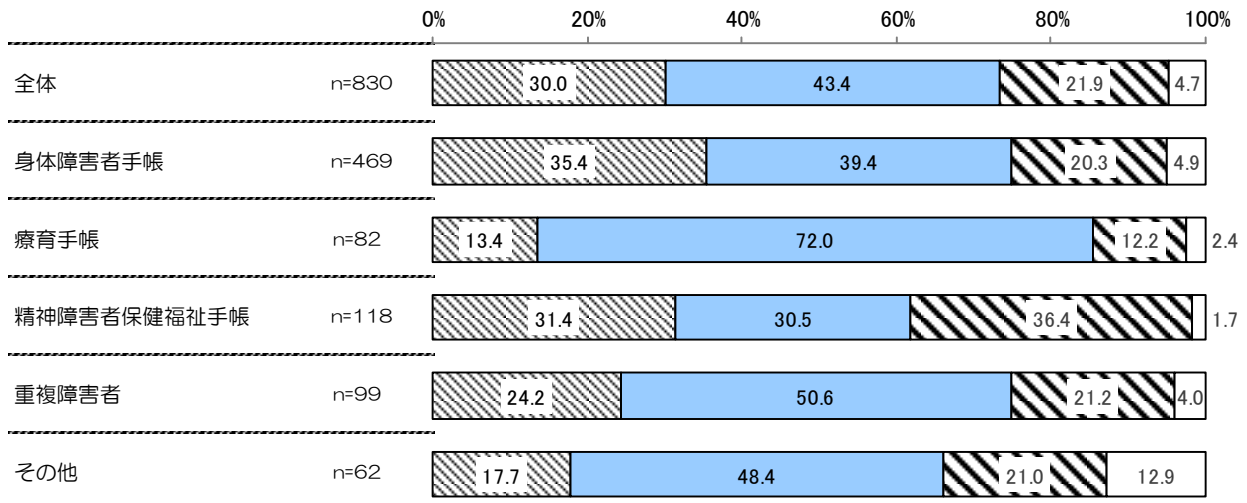


(8) 災害時の避難等について

問 50 あなたは、大雨・台風や地震等の災害時に一人で避難できますか。(○は1つだけ)

災害時における一人での避難については、「できる」が30.0%、「できない」が43.4%となっています。

障がい別でみると、一人で避難できる人は、身体障害者手帳では35.4%、療育手帳では13.4%、精神障害者保健福祉手帳では31.4%、重複障害者では24.2%となっています。一方、一人で避難できない人は療育手帳や重複障害者では5割を超えています。



□ できる □ できない □ わからない □ 無回答

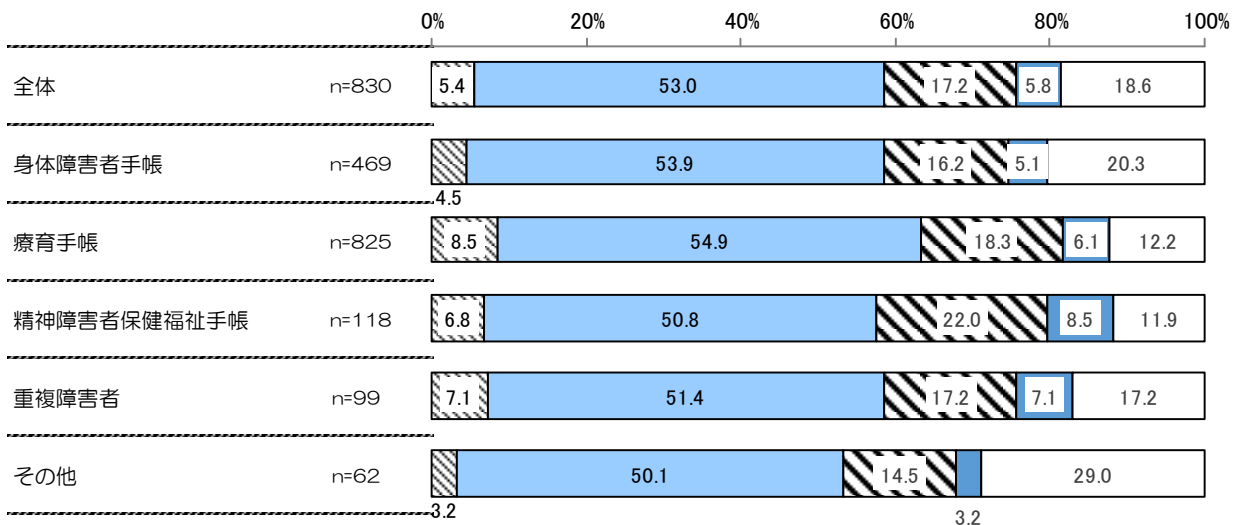
(9) 暮らしやすさや将来の生活について

問 54 あなたは、あま市は障がい者にとって暮らしやすいまちだと思いますか。

(〇は1つだけ)

障がい者にとってのあま市の暮らしやすさについては、「暮らしやすいまちだと思う」が53.0%と最も多く、これに「とても暮らしやすいまちだと思う」(5.4%)を合わせると、暮らしやすいと感じている人が5割以上(58.4%)を占めています。

障がい別でみると、暮らしやすいと感じている人は身体障害者手帳では58.4%、療育手帳では63.4%、精神障害者保健福祉手帳では57.6%、重複障害者では58.5%となっています。

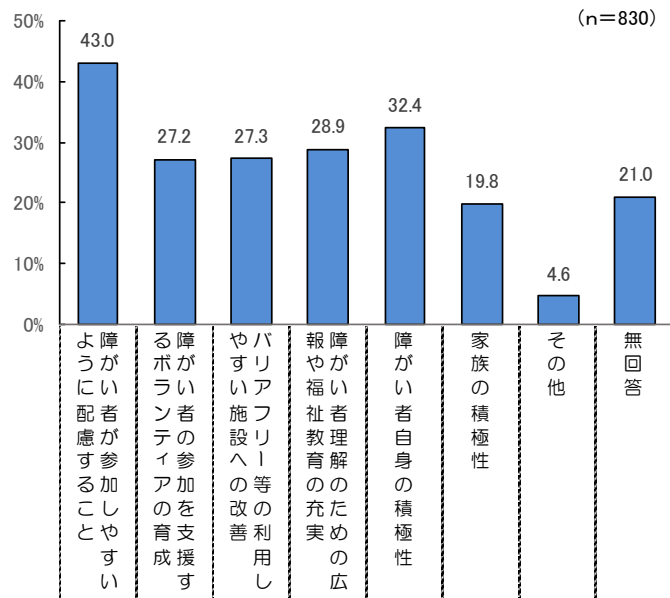


- とても暮らしやすいまちだと思う
- 暮らしやすいまちだと思う
- あまり暮らしやすいまちだとは思わない
- 暮らしやすいまちだとは思わない
- 無回答

問 55 障がい者が地域や社会に積極的に参加していくためには、どのようなことが大切だと考えますか。(あてはまるものすべてに○)

障がい者が地域や社会に積極的に参加していくためには、どのようなことが大切かたずねたところ、「障がい者が参加しやすいように配慮すること」が43.0%と最も多く、次いで「障がい者自身の積極性」が32.4%、「障がい者理解のための広報や福祉教育の充実」が28.9%、「バリアフリー等の利用しやすい施設への改善」が27.3%、「障がい者の参加を支援するボランティアの育成」が27.2%となっています。

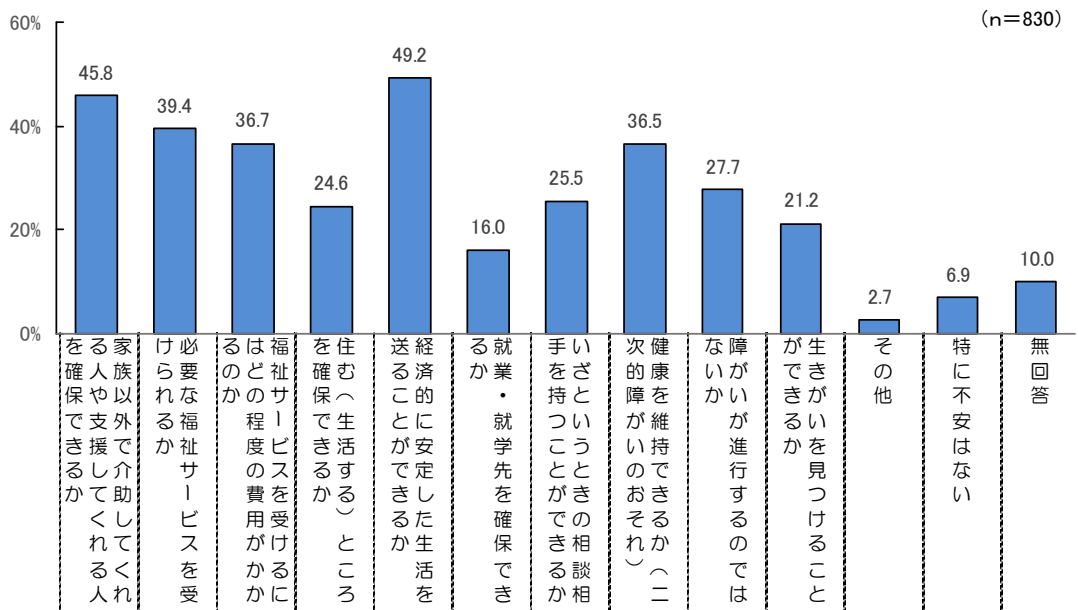
障がい別でみると、いずれの障がいにおいても「障がい者が参加しやすいように配慮すること」が多くあげられています。次いで身体障害者手帳では「障がい者自身の積極性」、療育手帳、精神保健福祉手帳、重複障害者では「障がい者理解のための広報や福祉教育の充実」があげられています。



		問55 障がい者が地域や社会に積極的に参加していくために必要なこと								
		調査数	障がい者が参加しやすいように配慮すること	障がい者の参加を支援するボランティアの育成	バリアフリー等の利用しやすい施設への改善	障がい者理解のための広報や福祉教育の充実	障がい者自身の積極性	家族の積極性	その他	無回答
全体		830	43.0	27.2	27.3	28.9	32.4	19.8	4.6	21.0
障 害 別	身体障害者手帳	469	41.8	25.8	31.1	23.0	34.1	16.0	3.0	23.9
	療育手帳	82	51.2	36.6	15.9	47.6	24.4	34.1	3.7	15.9
	精神障害者保健福祉手帳	118	46.6	30.5	23.7	43.2	40.7	18.6	11.0	11.0
	重複障害者	99	38.4	23.2	24.2	26.3	18.2	19.2	4.0	20.2
	その他	62	41.9	25.8	25.8	25.8	37.1	32.3	6.5	25.8

問56 将来の生活に対する不安についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

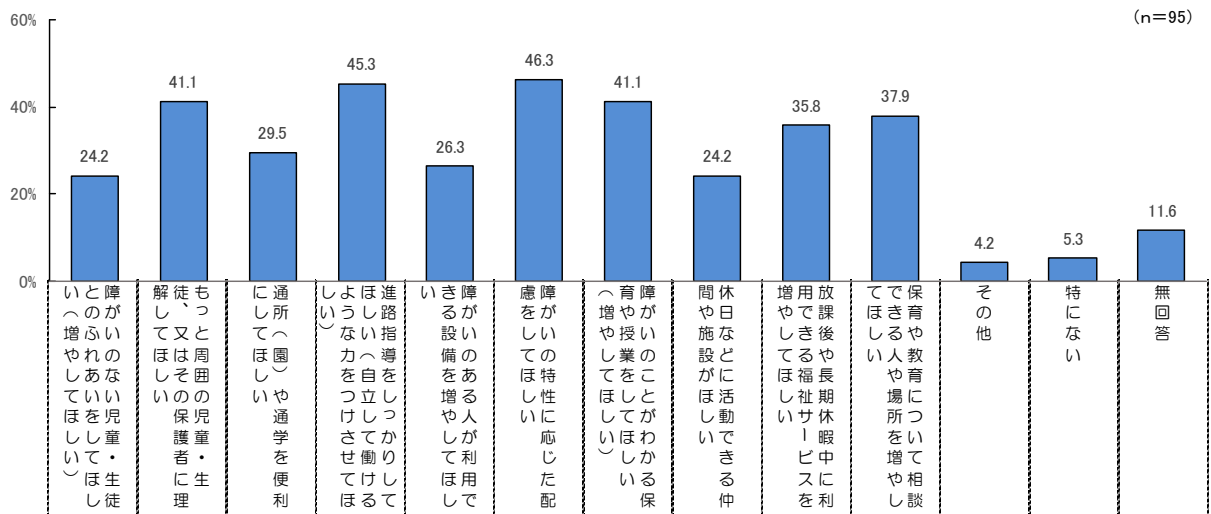
将来の生活に対する不安についてたずねたところ、「経済的に安定した生活を送ることができるか」が49.2%（前回42.2%）と最も多く、次いで「家族以外で介助してくれる人や支援してくれる人を確保できるか」が45.8%（前回46.3%）、「必要な福祉サービスを受けられるか」が39.4%、「福祉サービスを受けるにはどの程度の費用がかかるのか」が36.7%、「健康を維持できるか（二次的障がいのおそれ）」が36.5%となつています。



(10) 教育について

問 58 あなたは、保育や教育について今後、どのようなことが必要だと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

保育や教育について今後必要だと思うことについては、「障がいの特性に応じた配慮をしてほしい」が 46.3%と最も多く、次いで「進路指導をしっかりとしてほしい（自立して働けるような力をつけさせてほしい）」が 45.3%、「もっと周囲の児童・生徒、又はその保護者に理解してほしい」「障がいのことがわかる保育や授業をしてほしい（増やしてほしい）」が 41.1%、「保育や教育について相談できる人や場所を増やしてほしい」が 37.9%となっています。

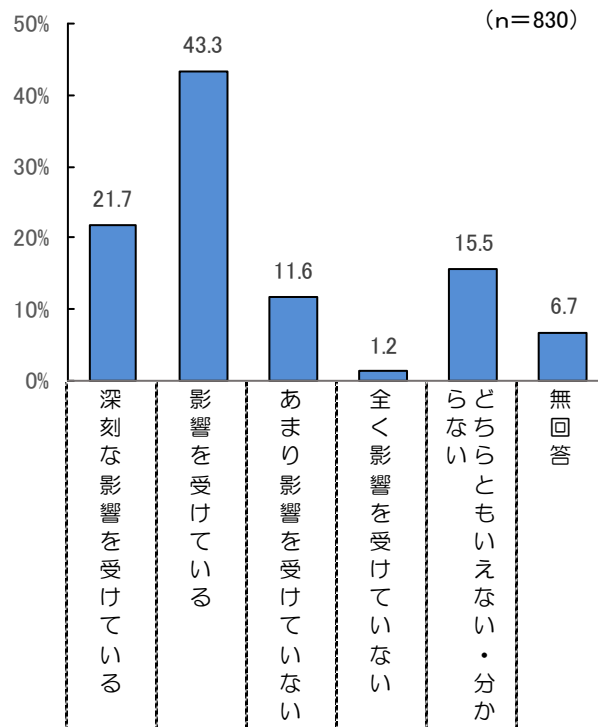


(11) 現在の物価高騰について

問 63 あなたは、昨今の物価高騰によって生活に影響を受けていますか。

(〇は1つだけ)

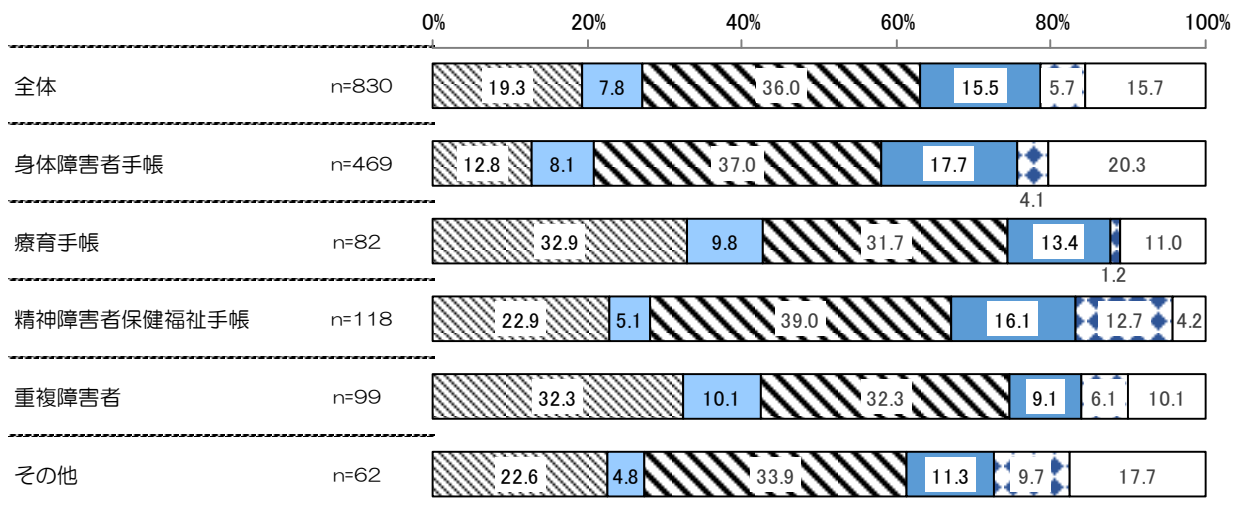
物価高騰により生活に影響を受けているかに関しては、「影響を受けている」が43.3%と最も多く、次いで「深刻な影響を受けている」が21.7%となっており、影響を受けている方が過半数となっています。



問 64 物価高騰への対策として、どのような政策が最も重要だと思いますか。
(〇は1つだけ)

物価高騰への対策としてどのような政策が最も重要かについては、「日常生活用具などの給付対象物品や給付上限額の拡充」が 36.0%と最も多く、次いで「障害福祉サービス事業所の運営に対する助成」が 19.3%、「移動支援など交通に関する支援の拡充」が 15.5%となっています。

障がい別でみると、身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、重複障害者では「日常生活用具などの給付対象物品や給付上限額の拡充」の割合が最も多くなっています。療育手帳では「障害福祉サービス事業所の運営に対する助成」が最も多くなっています。

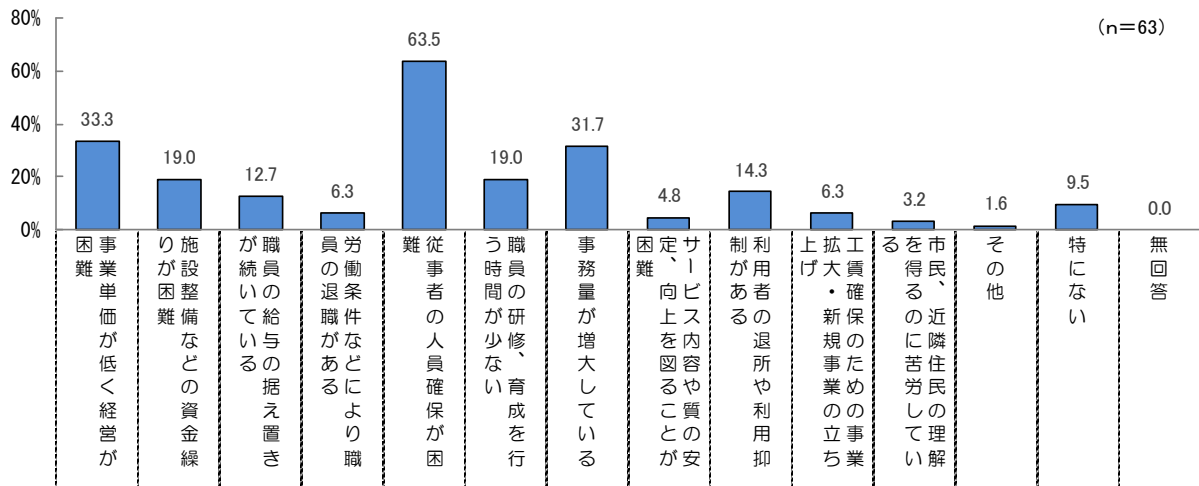


- 障害福祉サービス事業所の運営に対する助成
- 市内の障害福祉サービス事業所の充実
- 日常生活用具などの給付対象物品や給付上限額の拡充
- 移動支援など交通に関する支援の拡充
- その他
- 無回答

2 サービス事業者調査

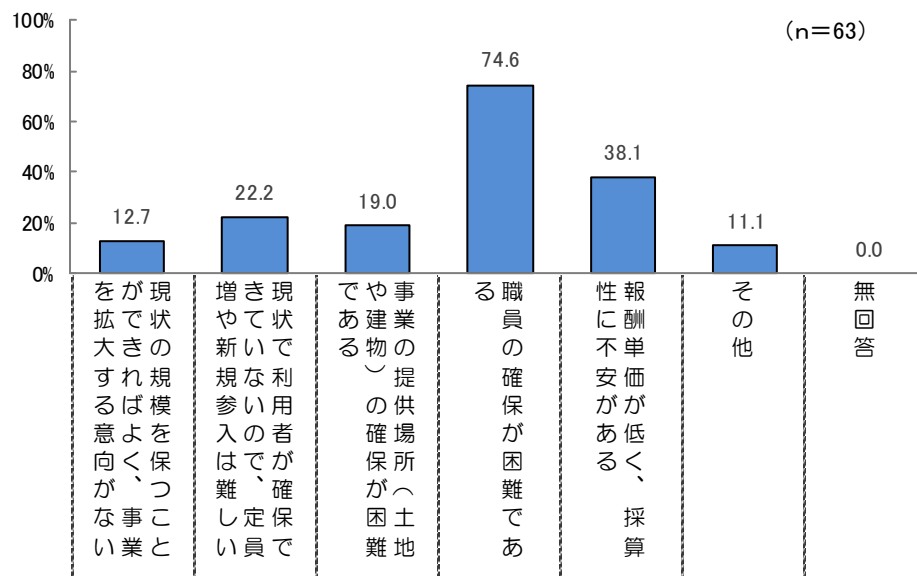
問3 貴施設・事業所の経営について御記入ください。(あてはまるものすべてに○)

経営上の課題については、「従事者の人員確保が困難」が63.5%（前回44.8%）と最も多く、次いで「事業単価が低く経営が困難」が33.3%、「事務量が增大している」が31.7%となっています。



問6 多くの障害福祉サービスでは、受入の増加が進んでいないのが現状です。それらの定員増員や新規参入が進まない理由としてどのようなことが考えられますか。(あてはまるものすべてに○)

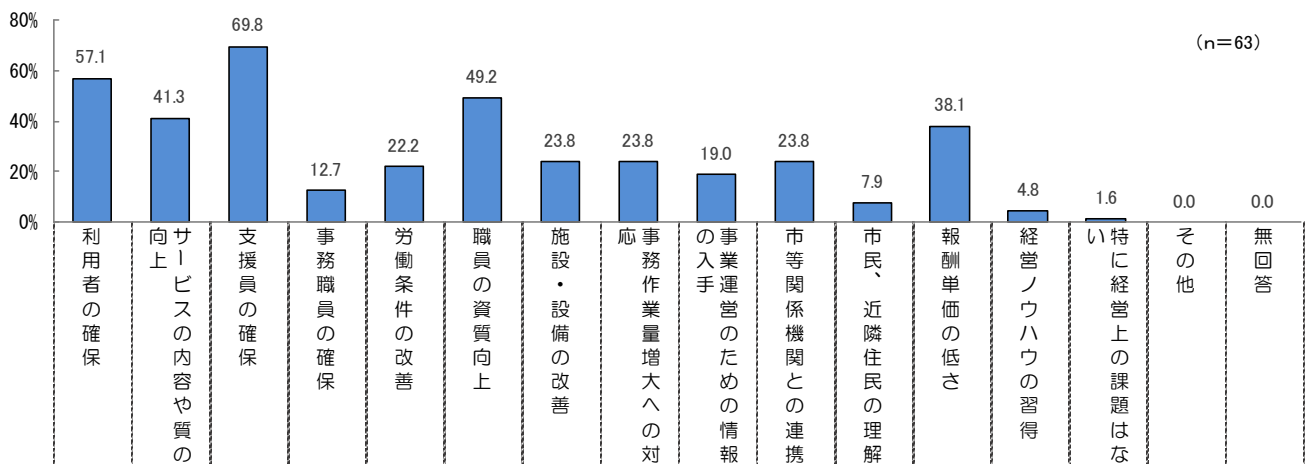
定員増員や新規参入が進まない理由については、「職員の確保が困難である」が74.6%（前回49.3%）と最も多く、次いで「報酬単価が低く、採算性に不安がある」が38.1%、「現状で利用者が確保できていないので、定員増や新規参入は難しい」が22.2%となっています。



問7 円滑な事業運営のために、改善したい経営上の課題は何ですか。

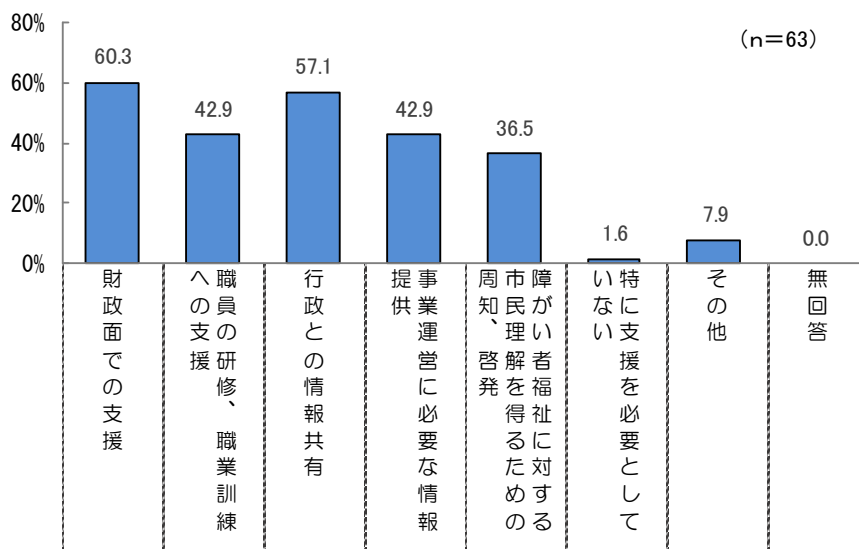
(あてはまるものすべてに○)

円滑な事業運営のために、改善したい経営上の課題については、「支援員の確保」が69.8%（前回55.2%）と最も多く、次いで「利用者の確保」が57.1%、「職員の資質向上」が49.2%、「サービスの内容や質の向上」が41.3%となっています。



問8 今後の事業運営にあたって行政等の関係機関のどのような支援が必要でしょうか。(あてはまるものすべてに○)

行政等の関係機関の支援については、「財政面での支援」が60.3%と最も多く、次いで「行政との情報共有」が57.1%、「職員の研修、職業訓練への支援」及び「事業運営に必要な情報提供」が42.9%となっています。



問 10 BCP（事業継続計画）を整備されていますか。（あてはまるものすべてに○）

BCP（事業継続計画）の整備については、「BCPの整備に現在取り組んでいる」が60.3%と最も多く、次いで「BCPを整備している」が25.4%となっています。

